

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	溝部 エリ子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本語教育方法論演習Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>アカデミックスキルの基礎ともいうべき、Commn Basicsがより高められるよう心がけてまいりましたが、その概念の共有が上手く図られなかったことは残念でした。これに関しては理解、把握できているという私の考えの甘さに反省しています。より、具体的に、詳細に理解の程度に合わせ、対応していきたいと思います。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない			やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1名を除いてはほぼ達成されたと思いますが、授業活動の中で自己学習となるべき、課題の提示、配布を今以上にさらに増やしていくべきか、些か判断しかねているところです。一方で図書館の利用、学術データベースの検索が全くなかったことも鑑み、今一度、大学生として自身で授業の中での課題をみつけ、研鑽を行う術を細かく提示していきたいとも考えました。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>全体的意見と相反する意見があることを重大に真摯に受け止め、できるかぎりの努力は行いたいと思います。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>1 学生から「説明がわかりにくい、先生が何を伝えたいのかが伝わってこない」との意見がありましたが、その都度理解の把握、質問など心を砕いて尋ねてはおりました。反応などから、十分に配慮、留意し、コミュニケーションが図れるようできるかぎりの努力はしてまいりましたが、大きな言葉の壁があったかとも思っております。この障壁を払拭すべく日々、創意工夫、尽力し、努めたいとは考えています。他の学生たちの大きな協力、励ましなどに大変助けられたことも事実であり、感謝のコメントも努力の甲斐があったこと、心が通じたことをとてもうれしく思いました。私見としては、日本語教育というものを通し、社会人となった折に、多文化社会の中で配慮をもった言語の力をもってもらえるよう、ことばを通して人として成長してもらえるよう、学生と向き合っていきたいと思います。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生に対し、前期以上に項目ごとに確認をし、理解の把握を図っています。また、課題に関しても高等教育課程の位置づけの中で自発的学習を行えるよう、内発的動機付けと主体的な学習態度を獲得すべく、方策を試みています。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	太田 かおり

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語教科教育法 V	4	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>英語科教職課程の必修科目である。学生たちは、これまで学修してきた英語教科教育法Ⅰ～Ⅳでの学びを活かし、集大成としての模擬授業に臨んだ。学生たちは各々事前に教科書の指定範囲に関する学習指導案や板書計画、配布資料、パワーポイント資料等を作成し、模擬授業の準備に計画的に取り組むことが求められる。教職科目のみならず、大学生活におけるボランティア活動などを通じた学びも活かし、学生たちは教育実習前の総仕上げとして模擬授業に積極的に取り組んでいた。</p> <p>受講生のコメントとして、「今回この授業を受けて二度目の模擬授業を行いました。後期に教育実習があるので、今回の授業でいただいた意見や他の受講者の方の指摘されていた点や良かった点を吸収して、後期の教育実習で生かせるといいなと思いました。」があり、模擬授業の授業計画や指導方法等で苦労した分、成長も大きい授業であったことがうかがえる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケート調査の結果から、授業の質評価については、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」は4.4、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」は4.5、「説明は理解しやすい物であった」は4.4、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は4.5、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は4.5と概ね良好であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業評価アンケート調査の結果から、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は4.5、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」は4.1、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」は4.2、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」は4.5、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」は4.3、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」は4.3、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は4.3、「職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた」は4.2、「職業選択の参考になった」は4.2と概ね良好であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年度の成果と課題を踏まえ、来年度も引き続き、学生たちの英語力および教科指導技術の向上に尽力する。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

COVID-19の影響で対面での模擬授業実施が難しい環境であったため、オンラインでの実施となった。対面で学生たちと接する実際の教育実習とは異なる環境であったが、今後ICT化が進み、ICTを活用したオンライン授業を実施する訓練としては実践的な取り組みとなったことと思われる。

学生たちが昨年度の模擬授業と比較して大きく成長している点は感慨深かった。昨年度は英語科教職課程の2名の学生が英語教諭として採用が決まり、4月から教壇に立って英語を教えている。今後も、教職を志望する学生の指導に努め、一人でも多くの学生の教職への夢が叶うよう力を尽くしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学（旧約聖書）	1	前期	必修	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる聖書理解が目的である。前期の授業では、通常、旧約聖書の基礎を体験的に習得できるよう、聖書を自ら開き声に出して輪読すること、紙芝居や絵本の読み聞かせ、DVD鑑賞、ディスカッションなどを取り入れるが、すべて遠隔授業であったため、実施できない部分もあった。遠隔授業となったため、毎年行なっている教会訪問は中止となったが、毎週のチャペルポートフォリオや、ミッションデーのレポートなどを評価に取り入れ、授業外でもキリスト教に触れる体験の機会を促した。毎回の授業の最後に記入するポートフォリオにおいて、その日の学びの確認を行った他、遠隔チャペルについてもチャペルポートフォリオを作成し、積極的なチャペル参加とメッセージを聞く姿勢を促した。</p> <p>今後は、さらに建学の精神に日常的に触れていく機会、聖書を読む機会を予習・復習などに取り入れる工夫を行いたい。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては4.0ポイントであった。事象を理解する視点や考え方取得は4.2ポイント、自分なりの目標達成は3.8ポイントであった。また、他の到達度自己評価も平均3.7ポイントであった。トータルの成績の平均値は約80%以上、遠隔チャペルのポートフォリオ提出率は90%以上であった。以上により、「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の世界観を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。</p> <p>キリスト教学(旧約聖書)はキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学（新約聖書）の中で、前期で学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかであるため、キリスト教に全く興味のない学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、総合的に全体として一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、行動目標に沿い、学問としての旧約聖書の講義による学びの他、遠隔チャペルの視聴を評価に組み入れ、授業内で学ぶことのできないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>自由記述には、「自分を顧みる時間となっています」との回答があり、今後も引き続き、慣れない聖書の学びへの導入として、多様な教材に触れ視野を広げながら、学生の生活に結びつける視点を大切にしたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>遠隔においても、Google Classroomを活用し「チャペルポートフォリオ」を導入して、チャペルと本講義とのリンクを行なった。毎回90%以上の提出があり、学生のチャペル参加の意欲など、全体像をつかむことができた。</p> <p>本講義は、興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要であるため、わかりやすい説明を心がけた。授業の質評価に関しては(1)評価基準については4.3、(2)課題については4.4、(3)「説明は理解しやすいものだった」は4.3、授業の質評価の平均値は4.0ポイントであった。「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が3.4、(5)学生の質問については3.6ポイントであったが、これは来年度対面授業に戻り次第、アクティブラーニングの手法を再開し、学生一人一人についてより把握する取り組みをする予定である。また、情報の利用に関しても、調べ学習を再開する予定である。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、学期始めにキリスト教に関心や興味のない学生たちにも主体的に学習してもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけでなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促しているが、今学期はすべて遠隔であったため例年ようにはいかなかった。</p> <p>授業の最後に記入して振り返りを行うポートフォリオに加え、遠隔チャペルの出席を促す「チャペルポートフォリオ」を導入し、学生のチャペルへの積極的姿勢を伺う材料とした。来年度以降、対面授業が再開してからは、さらなるアクティブラーニングを検討し、キリスト教学の学びを多角的に深められるような指導をしていきたいと考えている。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	浅野 嘉延 ・ 東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教と西南女学院のあゆみ	1	前期	必修	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>科目の名称通りキリスト教に重点を置き、また、西南女学院と大学の歴史的転換点においての内部での議論やその後の方向性について講義できる方々を厳選させていただき、講義を行った。宗教主任補佐のラス・ボーグ先生は本学院についての研究者であるため、動画による3回の講義をお願いした。クラスポートフォリオ7回、及びまとめレポート30点で合計100点とし、すべてGoogle Classroom経由で回収するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の出席率は全ての講義時間において各学科で90%を超えており、出された回答は熱心に書かれ、講義の内容も十分に把握されていた。講義者により多くの画像が配信されたため、印象深い回答がほとんどであった。したがって大部分の学生の成績は優、あるいは秀であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP：この科目は総合人間科学の必須科目であり、本学の寄付行為や建学の精神、また、大学の設置趣旨の最初の項目に相当し、CP上妥当であると考えます。

DP：この科目の目標は①西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。②設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。③キリスト教に基づく女子教育の意義を理解し説明できる、であり、DP1-1とDP4-1に相当しており妥当と考える。

上記より、内容的妥当性に問題はないと思われる。

なお、全学科の到達度自己評価の平均値は3.8で、自由記述からも特に問題点は見られなかった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価では、全学科で提出物の評価基準、学習範囲や課題、理解しやすさの平均は4.3であった。しかし、ネット授業のため学生参加の機会、質疑応答の機会が乏しいとの評価だった。次年度、対面授業が再開した際には、学生が発言できる機会を積極的に設けていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

昨年に引き続き本年も遠隔授業を行わざるを得なかったが、遠隔授業参加への積極性はどの学科の学生も高かった。次年度は100周年ということもあり、引き続き、本学の歴史や特色を十分に理解した上で、それぞれの専門科目に取り組み、西南女学院生としての自己形成の土台を築くことができるよう、内容を工夫したい。



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	ブラウン馬本 鈴子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナー I	1	前期	必修	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができ、自らが積極的に課題を探究し、他者と相互に学び合う関係を築くことができることを目標としている。去年まで専任教員2名で担当していたが、今年から私が一人で担当することになり、新たにテキストを変更した。また単独者担当となったために、知識が偏るのを避けるため、自学が充実しているテキストも副教材として使用した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>A97.3%,J2.7%と正規分布していない成績となった。というのは、最後に回収する自学の副教材で大きな差が出ると予想していたのであるが、ほぼ全員が大変誠意のある丁寧な記述を行っていたため、差をつけることができなくなってしまったためである。Aの中では、プレゼンテーションの評価によって差はあるのだが、皆それぞれにいいプレゼンテーションで、そこで大きな差をつけるには、ルーブリックを作成するにしても、大変主観的な判断となってしまう。後期には、どこか差がつくような要素をもっと作って、成績を正規分布に近づけるのが課題として残った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>基本的なスタディスキルズを講義と自学の教材で学習したという点ではDP1は達成しており、またDP3,4においても以下に紹介する学生の自由記述の一部より達成されたと思う。「初めてプレゼンをして緊張はしたが自分なりに上手くできたと思う。14回を通して楽しい授業とクラスの人と話し合いなどを通して仲良くなることができました」「プレゼンテーションを初めて作って、いい経験をしたと思いました」「みんな周りを見ていてすごいと思いました」など。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の意見：1. もう少し宿題の範囲を明確にしてほしかった。2. パソコンの使い方をもう少し勉強して欲しいです。3. 夏休みはパソコンを見ずに目を休める日を作りたいと思います。教員の回答：1. 宿題は、シラバスの1番下に明記していますし、そのことは何度も説明しました。2. 教師がパソコンについて勉強不足、ということですね。すみません、最後の学生のGoogleスライドでの発表でトラブルが起きた時に技術的にお手伝いできないことがあったかもしれません。本番でデータが出てくるようにご自分で何度も予行練習を行って確認しておいてください。3. そうですね。お疲れ様でした。（この授業は対面でしたが。）</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>自由記述にプレゼンテーションに関するコメント以外で、「年間目標」についてのコメントを書いている学生がたくさんいた。年間目標は初回の授業でそれぞれが決めて、記述してくれたものをこちらで回収、確認してから、最後の授業で返却した。学生は、授業中に寝ることもなく、熱心に前を向いて聞いてくれたし、こちらが出す課題には毎回とても熱心に記入し、解答してくれていた。教材や副教材は今の所適切であると思うが、今後ももっと有効な授業方法や教材がないか研究していきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
運動と健康	1	前期	必修	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「健康、運動、栄養、生活習慣、人体生理学、運動生理学、運動関連代謝系」の基礎知識の理解と把握に重点を置いた。授業評価では、本科目受講の理由は必修科目であるためが75.0%と多い。しかし、この科目に関心があると答えた学生が26.7%と低かった。近年、健康に関する情報はメディアを通して日常的だが断片的に触れている。まず、ダイエットや体作りに関心事項として取り上げ、さらに、出欠確認アンケートの中で収集した、受講者の健康に関する基礎知識や関心からトピックスを講義に折り込み、他者を含めた自己の健康管理のための興味と必要な知識を理解できるよう授業計画を構成した。また、授業計画では教科書等の予習復習範囲を明示し、教科書の内容を数回読み込ませ記憶を促した。</p> <p>出欠確認アンケートでは、受講内容のまとめと質問を設け、学生の理解度と注意力を確認した。その結果、授業毎に講義内容を理解しようという姿勢が向上したと思われる。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は87.5±6.4点で、再試対象は0名であった。</p> <p>全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達したものは33名（37%）であった。</p> <p>目標達成できたと答えた総数は32人中35名で高値を示した。</p> <p>「自己達成度」は平均値が全項目で3.0～4.0の間(中央値)にあり、「授業の質の評価」も3.0～5.0であった。「コミュニケーション力・表現力の獲得」は11名（31%）が不足を感じており、コロナ禍の影響と思われる。</p> <p>予習、復習の課題が少なく、授業以外での取り組みは34人(35名中)とほとんどであった。</p> <p>シラバスの情報を参考にした者11名と低く、改革性も低かった。</p> <p>欠席する者は少なく全員が積極的に受講していたが、今後、より真の関心を高めるような方法を考えたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。</p> <p>自由記述では、概ね分かりやすい授業だったという意見が多く授業進行は良かったと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性について 本科目は「総合人間科学科目」であるが、自己の健康管理及び学生生活においても必須の基本的知識である。また、生活信念、健康志向、美容的自己管理においても大きく関わりのある科目内容である。学生が一定の成績を収めていたことから、内容的には妥当な内容であったと考える。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性について 成績評価から、内容的妥当性は十分あったと思われる。興味が高まれば、もう少し深く進める事も出来ると思う。</p> <p>③受講動機で内容に関心がある学生よりも、単位獲得目的の学生の方が多く、「受講動機」が曖昧な学生も多い中、「学習到達度の自己評価」は60名(60人中)が達成できたと考えており、本科目が妥当な内容であったと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価において、予習を全くしなかった者が19名(35名中)であった。 毎回授業の復習、興味関心をアンケートしたことで関心が高まっていれば幸いである。 シラバスを参考にしなかった者が24名(35名中)、授業計画を立てなかった者が6名であった。 オリエンテーションにて十分な説明をしたせいなのかシラバスの利用者は5名と少ない。 次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、小テストの出題要点を事前に提示し、その内容を検討して授業に参加するよう促したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>健康管理、健康づくりの基礎的知識の形成は概ね達成できた。 授業過程を振り返ってみたとき、予習課題の提示などで改善を図りたい。 以上から、毎回のねらいを具体的に示すこと、可能な限り単元毎のまとめの時間をとるか、復習課題を意識的に提示するようにすることをくわえていきたい。 授業評価から、学生の意見を取り入れ、来年度に改善を加えていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
チームスポーツ	1	前期	選択	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期の授業は5回目まで、対面で行うことができたので、学期の開始講義で、体力測定および体組成（体脂肪量等）の測定を行ない、運動量と身体組成や健康度との関係、運動効果の把握が体感できるように務めた。続いて3回の講義時間を用いて、「筋力トレーニングの方法、トレーニング機器の使い方」、「心拍数を基準とした持続性トレーニングの方法」、「ストレッチ体操の実際、ウォーミングアップとクーリングダウン」について講習を行い、授業外で、また、将来にわたり自ら運動処方できるように実施した。</p> <p>6回目の授業から緊急事態宣言のため対面での実技ができなくなったため、毎回の授業で、家でできる筋トレストレッチを画面を通して動画を用いて行い、また、チームスポーツ3種目のルールの研究、トレーニング方法の調査とグループでの検討、技術向上の方法を調べ発表し、そしてグループごとに実施し、体験した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は84点（SD7）であり、再試対象は1名であった。ほぼ平均点は標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね80点以上として課題を作成）に達したものが27名（全37名）と予想以上に多かった。</p> <p>達成度に関する自己評価では目標達成できたと思う者100%が答えた。</p> <p>目標別に見ると、「知識が獲得できたと思う」が100%、「事象理解の視点を得た」96%、「課題検討力を得た」88%、「判断力を得た」92%、「学習意欲が得られた」88%、「必要技能を得た」88%であった。ただ、「表現力が向上」88%、「職業倫理・行動規範を獲得」88%名、「職業選択の参考になった」88%おり、遠隔授業が良い効果に影響したように思う。</p> <p>欠席する者は少なく、積極的な受講者が多かった。さらに教科書以外の資料をインターネットで利用し工夫したい。</p> <p>意欲関心を高めるために、種目やその歴史背景なども説明して、もっと深みを増していくことも次年度にむけて検討したい。学生による授業評価では、知識理解の観点、思考判断の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは、学生が思考判断で何が問われているかを自覚していなかった可能性が考えられる。次年度に向けて、ルーブリックで示すだけでなく、各授業のはじめに示す「ねらい」の表現を工夫するようにしたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「総合人間科目」であるが、必須科目に位置付けられ、初年度教育における友達づくりやストレス解放、健康づくりに最適である。また、運動の原理原則を実体験し確認する場として有用である。学生は積極的であり一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成度が比較的高く、カロリーカウンター装着による目標運動量の達成意欲、試合数と勝利数の記載、体力体型の縦断測定比較考察は方法的に成功しており、妥当性は高い。</p> <p>③受講動機で内容に関心がある学生が28%で、単位獲得目的の学生が56%である。「受講動機」が曖昧な学生も多かったが、「学習到達度の自己評価」は93%が達成できたと考えており、栄養科の学生に妥当な内容であったと考える。</p> <p>以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>遠隔授業ではグループに分け、自己推薦または他者推薦リーダーを中心に、課題種目の技術向上のための体力要素とそのトレーニング方法、同時実施時間、また技術トレーニングの方法の調査、発表、グループで実践を行い、遠隔通信機能を活用でき一体感を持って自主的に運動まで行うことができた。</p> <p>課題ごとに短時間で話し合い、チームとしてまとめ記録したが、その繰り返しは積極的な参加態度、リーダーシップを産み出し、集団の中の自分の役割を意識するよう促した。今後、状況によってチームへの言葉かけの内容とタイミングを検討したい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
共生社会とジェンダー	3	前期	選択	はい	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ジェンダーに関しては、身近な問題でありながら意識されていない場合が多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、アニメや身の上相談などの紙媒体、ネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMなどの新しい動画を教材として準備した。学生にもその旨シラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>評価は、最終授業の中でジェンダーを原因とする格差が解消した未来の共生社会を新聞記事として表現し、これに対し当事者性のある課題をどこまで社会的解決に結びつけるかを採点の基準とした。ほとんどの学生がジェンダーを自分の問題としてとらえる力は身につけていた。授業の感想においては、現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題に関心を持ち、自分の考えを述べることのできる思考力が確認された。選択科目であり、テーマに関心の高い学生が集まったため意欲関心は高かったと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

新聞記事として表現された内容から、現代社会におけるジェンダーをめぐる問題を社会的解決が必要であること、実現するための施策などへの理解は達成できたといえる。また、思考判断や意欲関心についても達成されており、おおむね内容的妥当性は認められる。ただし、国籍、人種、障害の有無などに関わらず多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉え、女性が自立的に社会参画に関する問題を理解し、課題解決の方策を考える点は不十分な学生もいた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」  
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

オンライン上ではあったが、アクティブラーニングとなるようブレイクアウトルームを活用し、講師と学生、学生同士で意見を交換しながらワークショップ形式で授業を進めることができた。毎回、発表する担当者を決めて、またグループで発表内容を検討するなどして、主体的な学びの場となった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

ジェンダーや共生社会という概念については、もともと知識のある学生と全く初めて接する学生に分かれていたが、最終的には基礎的な知識を身につけたものと思われる。身近な問題を社会的施策といった政治や経済と関連する理解を今後はさらに深める必要はある。



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	大谷 浩

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
人文学入門	1	前期	必修	はい	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>新入生は「人文学」が何であるかをきちんと理解していないことが多い。従って学問全体から見たときの「人文学」の意味を理解させ、その上で、自分たちが学んでいこうとしている「語学」「観光」という分野の位置づけを理解させることを大切にしたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>入学したばかりで、新しい学びに意欲的な受講者集団であることも手伝い、全体的に真面目な取り組みが多い。ただ、少数ではあるが（再履修生を含め）、最初から学習意欲が低かったり、適正に疑問を持ったりする学生がいる事実もあるので、個別の評価項目においては「やや達成」と判断する。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから  
みた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

妥当である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方  
策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答を  
お示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

英語学科と観光文化学科教員による輪講であるため、人文学部の学修を様々な切り口から概観できる。この授業の進め方で良いと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全体を通して順調である。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	松田 憲

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こころと人間	2	前期	選択	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度も昨年度と同様に新型コロナの影響で遠隔で授業を行った。対面講義では講義配布資料を書き込み式にすることで内容理解を促していたが、受講生の中にはプリンターを持っていないなど印刷手段がないものが多くいたため、講義資料を事前に配布して予習を促した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度はレポートのみの採点となったために、教育目標が完全に達成されたかどうかの判断が難しかったが、今年度は対面での試験が実施することが出来た。試験結果を見る限り、教育目標を達成できたと判断出来る学生が多くいる一方で、そうではない学生も散見される。毎授業後に課した小レポートも明らかに授業を聞いていないと思われる者もあり、Classroomの入退室時間を見ると数分で退出している学生も数名見られた。授業内では学生から寄せられたすべての質問に回答しており、評価基準も明確に示しているにもかかわらず、アンケートには「そうではないと思う」という回答があるが、おそらくは授業を聞いていない学生が回答したものと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>受講生は講義内容におおむね満足していると判断できる。</p>
---	-----------------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>遠隔での講義は昨年度も行っており、今年度もその経験を活かしつつ、適宜学生からアンケートを募って修正しながら進めることが出来た。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>遠隔での講義は移動が生じない点では楽であったが、やはり学生の顔が見えないために壁に向かって話しているような感覚に陥りやすかった。来年度は対面に戻ると思われるので、嬉しく思う。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	後藤 宇生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
経済学入門	2	前期	選択	はい	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>最近の経済学の動向を踏まえ、現実の問題とつなげること。</p>
---	------------------------------------

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価の平均値や中央値と、成績分布により、判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>経済学、特にミクロ経済学における、ゲーム理論やマッチング理論など、最近話題のものを知識として提供し、理解を促した。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方のコメントはほとんどなかった。遠隔授業だったため、出席管理が難しかった。この部分の工夫を考えたいと思う。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>概ね達成できたと考えている。課題として、出席管理と理解度をますような工夫をしたいと思います。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	福田 達也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
法学	1	前期	選択	はい	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生が板書をノートにきちんと書き留めるように、スライドの静止時間を長めに確保した。そのため、毎回のように講義に出席し、説明を漏らさずに聞いている学生と、講義中の説明等を聞いていなかったり、欠席が多い学生との間に、講義内容の理解に大きな差が生じたように感じた。以上により、学生の学習準備性については、講義の予習よりも毎回の授業の復習を行うという傾向が強いのではないかと推断する。受講動機については、多くの学生が単位数の確保のためと回答しており、法学に興味を抱いて履修する学生が少ないので、今後は履修した上で興味を持ってもらえるよう工夫を施していきたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験の成績については、全体として高得点者が多く、上記の目標はほぼ達成できていると思われる。しかし、学生による授業評価によると、到達度自己評価の全ての項目において、多くの学生が③の「まあまあそうだと思う」および④の「わりにそうだと思う」を選択しており、試験の成績とは別に学生の授業内容の理解に努力が必要であると感じた。学習量の評価については、0時間と回答する学生が多いので、今後は授業時間内だけでなく授業時間外学習をしなければならないよう工夫を施していきたい。さらに、授業時間外学習時間が少ないことと併せて、図書館やインターネットの活用についても、利用していないと回答する学生がほとんどであったので、上と同様に今後の課題としたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP,CP,カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性については、ほぼ問題ないと思われる。法学は基本的には、まずは制度の内容や基礎理論の理解が重要であり、知識・理解の面が極めて重要であると考えられるためである。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進行方法については、現在のところは変更を検討していない。板書(スライド)による講義スタイルを採用しているが、板書だけでなく、説明を聞いていなければ内容の理解に至らないようには工夫している。受講生自身が、板書の文字だけでなく、補足説明を聞きながらそれぞれのノートテイキングを行い、理解を深められるようさらなる工夫を考えたい。講義中における概要プリントがない分、毎回の授業の説明をきちんと聞いておかなければならないという意識を学生に持ってもらえたらと考えている。現在のところは、試験の全体的な成績を見てもわかるように、このスタイルである程度は理解が高まっているので、今後、全体的な成績が下がるようであれば、概要プリントの配布も検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業時間外学習をいかに確保するかが今後の最重要課題と認識している。適宜、課題を課す等、積極的に取り組んでいきたい。



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語入門	1	前期	選択	はい	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 中国語入門の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の54.5%を除いて、③「関心のある内容である」は60.6%であった。このことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。</p> <p>2. 受講人数が35名で、語学の初級としては妥当と思います。学生一人一人に対して指導ができます。</p> <p>3. 「教員とのコミュニケーションが取れる」という学生の意見から、今学期は事情により、Meetの遠隔授業を行うことになりました。画面を通して学生たちが積極的に参加しました。ただし、対面授業と比べて、不足な部分もあります。今後の授業において、できる限り学生一人一人と会話できる場面や機会を増やしていくことを工夫したい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>1. A評価は9名、B評価は22名、C評価は3名、E評価は1名であり、最終的な成績の平均値は「84.68点」であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル（遠隔の定期試験及び平常点の総合として80点以上）に達していた。</p> <p>2. (DP-1)の知識理解、(DP-5)の技能表現をみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わることができる能力を初歩的に習得していた。</p> <p>3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週3回の復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。4. 自発的学習については、中国語の動画アプリやネットで関心のある内容を自ら調べて学習していることに評価しています。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の学習到達度評価をみると、①「自分なりの目標を達成した」は平均点3.9点、②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点4.4点、③「専門分野について、深めたい意欲を持つことができる」は4.5点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

1. 「授業の質の評価」について、値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。
2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。
3. 「図書館やインターネット等の利用」は、遠隔授業の影響で、インターネットの学習がかなり利用したことが見られて、いい結果であります。授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

1. 中国語入門は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。
2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。
3. 授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を、身につけられるよう、養成していきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	金 光子

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハングル入門	1	前期	選択	はい	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>韓国語が初めての受講者が多いことから、ハングル文字でつまづかないように経験上理解しにくいところを先回りして解説するなど、わかりやすい授業を第一に心がけた。また受講動機において、約70%の学生が「関心のある内容である」との回答をしていることからわかるように、もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組んだ。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	毎週の提出課題についてみると、回数が進むにつれて学習の成果が表れており、後半に向けては皆が完成度の高い内容の課題を出せるようになった。到達度自己評価の多くの項目において、平均点も中央値も4であり、特に「知識を確認、修正、新たに得ることができた」の項目では中央値5が出ていることなどから、教育目標は到達したと考えている。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本講義は語学学習を通じて韓国という国、地域、社会や歴史に興味を持ち、言語に現れる文化などの違いを理解し、また、習得した韓国語を実際に話してみることによって、異文化圏の人々との相互理解の一助になるものと考え、カリキュラムマップにおける本講義の位置づけからみた内容的妥当性は問題ないとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方は課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に質問を受けて指導にあたったりもした。授業の進め方については学生からアンケートを取り、意見を取り入れながら授業内容の構成に臨んだ。結果、授業の質評価では平均値4、中央値では5もあり、一定の評価が得られたと考える。前期に履修すべき語学の基礎的レベルには十分に達したと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと思う。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本語表現法	3	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>リモートによる講義は、特に日本語表現法においては厳しい側面もあるが、講義中に必ず、せめても一回は学生に指摘して学生自らの考えを述べる（発表する）チャンスを与えて、自分を表現する訓練を高める方向で講義を進めた。読む・聞く・書く・話すということを原点において、レポートの書き方、敬語の歴史的考察、敬語表現、具体的形容詞の使い方、句読点の在り方、普通の文の書き方、間違えやすい表現、若者言葉と現在の世の中の人々の精神構造、など、心と言葉がいかにつながっているのか、その連関を考察した。ありきたりの表現の練習などは各自の努力でなせるものだが、講義でしか成し得ない内容を凝縮し社会に出ても恥ずかしくない常識、良識をマスターし、的確なその場に応じた表現が出来るよう講義した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>個々の差はあるが、大体70%から80%は達しているようである。ただし、初めからまずまずできる学生と、そうでない学生との差が感じられ、そのような時こそ、本来ならばマンツーマンの講義が可能となる対面と違い、リモート講義の弱点をどのような形で補うのかという点に苦慮した。前項でも説明したことに加え、課題を出すこと、パソコンで質疑応答をすること、など臨機応変に指導した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容的妥当性は良かったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

この度は、いくつかの達成のための課題に基づいての考察であったが、この方法での成果が見られたので、今後もこの調子で進めていきたいと思っている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の反応は、たとえリモートであっても把握できたので、根気よく一人ひとりの成長記録を作り、評価を出し今後の資料にしたいと考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
メディアリテラシー	1	前期	選択	はい	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れている学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。全授業回のうち、前半は基礎技術の習得を行い、後半はグループワークによる実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容に対する興味喚起に努めた。</p> <p>情報関連の知識・技術が今後の学生生活や就職後に必須であることを理解できるように、課題の内容を工夫した。</p> <p>また、後半のグループワークでは、創造性やコミュニケーション能力の育成といったグループワーク一般の目的に加え、各自が目指す職業の社会的意義や多様な活動についての情報収集を通し、職業そのものおよび身につけておくべき情報技術について、理解を深め実感を得られるよう学習プロセスをデザインした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。</p> <p>授業アンケートの到達度自己評価の項目のうち、本科目に特に関係する(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、の結果は良好であった。</p> <p>授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。実際、自由記述に「課題で十分」という記述が多い。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、全ての学科に存在する学科横断的科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなくグループワークによる能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であり、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は少ないが、授業を通して理解されるよう努めている。実際、到達度自己評価の項目のうち、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた、の結果は良好であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

完全遠隔授業だったため、Line for Businessによる質問環境の整備を行い、授業中および授業時間外において、数多くの質問を受け付けることができた。また、学生側の定期的なカメラ・マイクオンや、学生間でのディスカッションなど学生間の交流に配慮した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	岡本 正宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報処理基礎	1	前期	選択	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業内容は、Microsoft OfficeのWordおよびExcelの前半部分（基礎）である。学生の受講動機の選択率の高いものは、④単位数を確保する(53.6%)、③関心のある内容である(32.1%)、①必修科目である(32.1%)、②資格取得に必要である。(28.6%)であった。必修科目であるが、高校生の時の情報教育内容は出身高校でバラバラであることから、統一した問題を与えるのではなく、前もって、基礎から応用までの種々の問題プリントを前もって与え、高校時代にかんがいのことを学んでいる学生に飽きさせないようにそれぞれの問題の解答をいつでも提出させるようにした。そのことにより、自己評価では、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均点4.3)、(1)自分なりの目標を達成させた。(平均点3.9の結果が出ている。)授業の質評価では、(1)評価基準は明らかであった。(平均点3.7)、(5)何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた。(平均点3.6)</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>出身高校時代の情報教育の程度に非常にばらつきがあり、統一的に講義ができず、かなりの程度の知識がある学生については、かなりの課題を与えて回答させた。ただ、定期試験で不合格者がゼロであり、一定の知識理解を全員に与えることができた。しかし、自由記述の意見のなかに、課題で精いっぱいであった、時間に余裕がない、という意見がある一方、実際習ったことを使って何度か自分でエクセルを使って資料作成をした、自分でインターネットを使ってより理解を深めたという高評価もあり、改めて、この種の演習の講義進行の難しさを再確認した。説明が早くて追いつけない、授業がとても分かりやすかったという対立的な意見があり、それに加えて、オンラインで講義をせざるを得ない状況であったことから、対面でこの種の演習をやらなないといけないと思った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

内容の妥当性は、上記の受講動機、学習到達度の自己評価からも問題はないと考えられるが、オンラインでの演習という環境から一人一人の質問を講義室を回ってチェックすることができなかったことから、一部の学生に、苦手なので説明が早くて追いつけない、説明がわかりづらいなど、教員として反省することが多々あった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」  
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

昨年度に続いてオンライン演習の形になり、一人一人の理解度を演習室を見回ることができないことから、授業がとても分かりやすかった、説明がわかりずらかったという相反する学生からの意見が出たことから、オンラインでの改善方策を考慮中である。学生がわからなかった場合は、そのファイルを添付して、メールを送ってもらい、それに回答するやり方を導入してみたが、時間遅れで理解させることになってしまい、その場で説明することをなんとかできないものか？

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

とにかく、オンラインではなく、対面で演習を行いたい。学生のパソコンもMacやWindowsが混在しており、また、バージョンも異なることから対応に苦慮した。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	岡本 正宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報の理解と表現	2	前期	選択	はい	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この講義の目的は、HTMLを用いてホームページを作成できることにある。そのためのスキルを毎講説明して、トータル2回のホームページを作成させた。したがって、成績評価はペーパー試験ではなく、2回の提出課題の完成度(70%)と出席(30%)で行った。学生の受講動機は、②資格取得に必要である(40.9%)、④単位数を確保する(40.9%)、③関心のある内容である(31.8%)であった。ほとんどの学生は、ホームページの作成は初めてであったことから、講義は統一して行い、理解度にばらつきは生じなかった。ホームページの完成度は非常に高く、80%以上の学生の完成度は予想を超えるものであった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価では、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均点4.3)、(1)自分なりの目標を達成した(平均点3.9)であった。また、授業の質評価では、(2)期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった(平均点4.4)、(1)テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった(平均点4.3)であった。また、自由記述では、習った技術以外の方法も調べてやってみた、やり方を忘れないように真似て復習したなど、かなり学生の積極性が見られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

内容の妥当性は、ホームページの作成をHTMLを用いて1からできることであり、受講生全員が予想を超える完成度であったことから妥当であるとする。また自由記述で、分かりやすい説明や何回も教えてくださったおかげでホームページの作り方を知ることができたという評価を得ている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」

「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

オンラインの演習であっても、対面に劣らず完成度の高いホームページを作成させることができた。ただ、各学生のPCに動画作成のためのホームページビルダーが統一してインストールしていないことから、より高度なホームページ作成がオンラインではできなかった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

オンラインである程度の完成度を持ったホームページを作成させることができたが、できれば、対面で、ホームページビルダーをインストールしたPCを用いて行いたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
北九州の技と文化	3	前期	選択	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>3. 授業準備について</p> <p>授業評価アンケート（回答者5名）の受講動機を見ると、4. 単位数を確保する（60%）、3. 関心のある内容である（80%）、1. 必修科目である（20%）と続く。外発的な動機もなされている層がいることがわかる。しかしながら、1. 必修科目である（20%）には困惑する。必修授業ではないからである。この科目は全学科で選択科目である。受講生は3年生であり、シラバスを読むことは当然と考えるが、そうではない層がいるということになる。あるいは、キャンパスライフでは、「地域創生」の4科目から2単位以上を修得となっていることから、当科目を「必修」と理解しているのであろうか。しかしながら同じ記載(選択)の同じ学部の観光文化学科では、受講動機で「必修科目」を選んだのは、0%である。3. 関心のある内容である（80%）は、5学科中の最高であり、内発的な受講動機が相対的に高い。授業評価では、6. 図書館利用の3項目で、5学科中で最も高い利用率となっており、たいへん好ましい学習の状況であるが、更に増えてほしい。昨年度の外部講師の講義内容が、どちらかというところ、人文系に傾いていたことがあり、本年度は保健福祉学部系の教育内容に関わる業界の講師も呼んだ。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>4. 学生の教育目標達成状況について</p> <p>全般的にはやや達成された」と考える。採点対象者（25名）の本試験の成績分布は、A(37%)、C (37.5%)、E (不可25%)である。なお、再試で合格は1名である。授業評価アンケートの「到達度の自己評価」では、3.8～4.0の範囲内にある。成績はレポートが100%である。レポートについては、初回オリエンテーションに予告し、最後の二回の授業でも書式等については詳しく説明した。その内容は1. 参考文献の書き方、2. レポートの見本（学習技術研究会 [編著] 知へのステップ くらしお出版）、3. レポートの書式をClassroomに公開した。E（不可25%）は不本意であるが、レポートのみでの成績評価であり、残念ながら標準的な水準に達していないレポートがある、そのような評価となった。なお、大学の全学科の2. 到達度評価（DP）の10項目の平均を示す。看護：2.9、福祉：2.61、栄養：3.78、英語：4.18、観光文化：3.21。3. 授業の質評価（5項目の平均）は、次となる。看護：3.42、福祉：2.66、栄養：3.76、英語：4. 観光文化：3であり、大まかには昨年度と同じ傾向である。英語学科は文章を書くことについては、かなりのトレーニングを受けていることがわかる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

5. DP, CP, カリキュラムマップ上における本科目の位置づけについての評価

本科目は総合人間科学の学部共通科目中の地域創生のカテゴリーに位置する。外部講師を幅広くいろいろな分野から選んでいる。今回招いた5名の外部講師の講義がどれも英語学科学学生の専門性に何らかの形で関わるものであり、将来のキャリア選択に際して、幅広い視野を持たせてくれるものとなった。このようなことから、本科目を3年前期に置くことは、妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

6. 授業の進め方とその向上について

授業評価アンケート（回答者5名）については、「学習の質の評価について」は、3.4~4.6の範囲内にある。「学習量の評価」については、「（1）授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたか」に対しては、①0回が4名である。「（1）授業に参加するために、1回30分程度以上の復習をどのくらい行いましたか」に対しては、①0回が4名である。予習復習のどちらにしても、80%の学生が何もしていない。しかしながら、予習については、学生を責めることはできない。外部講師からの授業前の資料を事前に学生に提示することをしていないからであり、予習の必要性がない形になっていたからである。これを改善するには、外部講師からの資料を事前に入手して配布しておくしかない。メールや授業で出た質問にはそこで答えて、またそのやり取りを文字情報として、Classroomに公開しました。担当教員への意見は、一つです。PPTを授業後に配信してもらいたい。もっともな意見ですので、外部講師全員に働きかけたいと思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

全般的には、目的は「達成された」と考える。大学の全学科対象の選択科目であり、受講生が多くなることが予測されるが、いろいろな背景の学生がいることを想定して、必要に応じて個別指導等を行うことが必要と考える。3年生以上であり、レポートの書き方の基礎は学科を問わずできていると期待していたが、そうではない学生もいることが分かったからである。しかしながら、教育目標にDP5（技能表現）を含まないこの授業で、レポート作成の基礎として、例えば参考文献の並べ方から指導を行う必要があるのかを自問すると、この科目担当者がそれを担うべきなのかについては迷うが、初回の授業で学生の反応を見て、レポートについては丁寧に説明をする必要があると考える。この2年間は遠隔授業であり、資料配布も遠隔でなされた。端末によっては、資料が開けないなどのトラブルは避けられない。担当者はデジタルの専門家でもないで、その場での対応が困難なこともある。次年度は、テキストは購入してもらうことで、少しでもトラブルを減らしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ボランティア概論	1	前期	選択	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講では、ボランティアや地域貢献活動等の理論や実践について学びを深めるとともに、自らボランティアに参加したりすることにより、自分自身の社会的有効性や存在価値を見出し、豊かな人生を目指すことを目的としたものである。全7回の講義中、現在進行形で活動しておられる、外部講師を5団体招聘して、リアル講義の工夫をした。</p> <p>特に自分自身で活動を行いたいと思うような気持ちを膨らませられるよう、質疑応答の時間を多く設けるように工夫した。</p> <p>初回講義の時には、この講義で何をするかということ、ペーパーにして配布し詳細の説明をした。心構えと題してのペーパー（内容は休まない、協力する等の再確認、外部講師の方々へのマナー礼儀の確認）を配布して関心をもたせた。また、毎回、リアクションペーパーの記入で、自分が何をどんな風に学んだかを振り返る時間を必ず設け、考えたことを文章にて表現させ、次の時間に必ずフィードバックをした。</p> <p>なお、今年度に関しては、保健福祉学部と人文学部の全学科合同でのWeb講義ということになり、多人数かつ少タリアルに欠けるところもあったかもしれないが、学生たちのリアクションペーパーから、また外部講師の先生方の力強いご協力により、十分な教育の提供ができたと思われた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体を通して目標の達成度が達成されたという根拠は、欠席が非常に少なかったということが考えられる。そのことで、学生の意識をしっかり受け止めることができたと感じている。また、リアクションペーパーの中には、Webではあったが楽しい授業であった、普通では知ることができないことを学べた、実際にボランティアを始めた、等々の記載内容のものが多かった。当然楽しいだけではいけないので、毎回必ず振り返りを教員と学生と一緒にやって、このボランティア概論の意義と必要性を高めた。そのようなことから、最終的には全員が学びと感動を深めることができ、理想的レベルまで達成できたものとする。</p> <p>講義時間内だけのものになってしまう可能性もあるので、外部講師（ゲストスピーカー）の団体の事前学習の課題を与え、考えさせて興味を持たせるよう工夫して行った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性については、学生の授業評価アンケートの評価や、最終報告から見て、内容としては妥当と考えられる。DP、行動目標から見ての内容的妥当性に関しても同様で、内容的には妥当であったと思われる。以上のことから、内容的妥当性に関しては問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由」で、「することがなかった」という回答があった。

地域貢献や社会活動、ボランティア等々の重要性について、より具体的に社会の中での状況を興味深く話していき、可能な限りリアルに伝わるようにして、講義以外の時間でも振り返ることができるような意識付けを深めていきたい。

事前の課題をほぼ毎回課したので、インターネットの利用が多かった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本講においては、学生からの自己評価やリアクションペーパー、最終講義の時の全体的感想によって、その達成は理想的レベルであると考えられる。

講義内容もゲストスピーカーの方々のご協力を得て、ウェブ講義ではあったが、シラバス通りに進行した。

次年度も同様な内容で進めていこうと考えるが、時代をキャッチした内容の講義を展開していきたい。



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ライフイベントとキャリア支援	2	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機としては「単位数を確保する」と「関心のある内容である」が多くなっている。本科目は、学生に今の時期から自身のキャリアや人生設計について積極的に考えることの重要性の理解を促し、必要な知識を提供することを目的としており、単位取得を目的に履修した学生にとって、結果的にこの目的が伝わっていれば問題ないと考えている。今年度は、例年に比べて本学科の履修者が少なかったが、履修者が多かった学科もあり、学科により登校日を分けるという変則的な時間割が、履修するか否かに大きく影響したとみられる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>講義後に毎回、コメントの提出を求めたが、その記述内容から、多くの学生が真面目に受講し、自身のキャリアと結び付けて考えていることが伺えた。アンケートの自由記述では、他の履修科目の課題に追われ、本科目の予習/復習には時間が割けなかったという意見が多く見られたが、科目の性質上、学科の専門科目よりも優先度が低くなるのはやむを得ないと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>アンケートの「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」や「職業選択の参考になった」という項目で肯定的な回答が多くなっていることから、本科目の目的は概ね達成されていると考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>今年度はすべての回が遠隔での実施となったが、講義形式の科目であるため、対面の場合とほぼ同様の内容で実施することができた。ただし、授業回数が元来8回しかない科目であり、今年度は7回に減ったために、内容を一部減らさざるを得なかった。アンケートの、授業の理解度などの指標において否定的な評価はほとんど見られないことから、授業の進め方などにおいて特に問題はなかったと考えられる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>今年度は、昨年度に引き続きコロナの影響で遠隔授業と講義回数の削減という制約を強いられたが、すでに学生が遠隔授業に慣れていたこともあり、スムーズに授業を進めることができた。学生に課したレポートの内容から、学生がキャリアについて考えることを促すことができたと考えている。次年度以降も、社会情勢を踏まえ有意義な知識を提供できるよう努めたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	太田 かおり

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
実践英語音声学Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>英語学科1年生の必修科目である。音声学は、大学で初めて学ぶ学生がほとんどであると思われるため、わかりやすい授業を心掛けるとともに、日常英会話やリスニングなどでも実践的に活用できる知識とスキルを身につけられるよう指導を心掛けた。</p> <p>今年度は昨年度に引き続きCOVID-19の影響でオンラインでの授業実施となったが、その利点を最大限に発揮できるよう授業の指導を工夫した。学生たちはオンラインであることから教師の口元を画面で見ながら授業を受けることができ、また同様に教師側も生徒一人一人の口元の動きや音声を確認しながら授業を進めることができたため、非常に効果的な指導を行うことができた。学生たちは皆、発音練習を積極的に行ないながら授業に参加しており、とても良い取り組み状況であった。受講学生のコメントには「毎回の授業がとても楽しく興味深かったです。」「音声学は英語を学ぶ上でとても重要と考えます。」「この授業を受けて、英語の正しい発音を学ぶことができた。」などの意見があった。後期は実践英語音声学Ⅱに続くので、さらに英語の発音やリズム、表現力を強化し、よりわかりやすく伝わる英語音声コミュニケーション力を高める指導を行なっていきたい。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケート調査の結果から、授業の質評価については、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」は4.9、「期間内に行き学習の範囲や課題は明らかであった」は5.0、「説明は理解しやすい物であった」は5.0、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は4.7、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は4.9と概ね良好であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

授業評価アンケート調査の結果から、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は4.8、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」は4.7、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」は4.7と概ね良好であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

今年度の成果と課題を踏まえ、来年度も引き続き、学生たちの英語力に加え、発話力や音声認識力の向上に尽力する。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成状況については概ね良好であった。今年度の成果と課題を踏まえ、来年度も引き続き、学生たちの指導に力を尽くしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	塚本 美紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
グラマー・コンポジションⅠ	1	前期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 高等学校までの履修科目や習熟の状況については、学生ごとに大きな隔りがあるため、既習事項と思われるものについてもわかりやすく解説しながら授業を進めることに注意した。</p> <p>② 例年、受講動機については、「必修科目である」という項目以外に回答した学生は少数しかいないが、今年度は半数近くの学生が「関心のある内容である」という項目も選んでいた。授業中の質問等は多くはなかったが、高等学校までの学びを振り返りながら新しく学んでいることを整理しようとしていることがよくわかる質問が多かったので、高等学校までの学びを整理しつつ解説するように心がけて。また、オンラインでしかやりとりできないため、学生からのメール等での質問にはできるだけ迅速かつ丁寧に対応するよう心がけた。</p> <p>③ 予習の習慣がつくように、予習としてすべきことを明確に指示し、毎回予習してきたことについて確認する機会を設けた。</p> <p>④ 学生が復習をし、自分の学修の成果を確認できるように、毎時間前時の授業についての小テストを実施した。</p> <p>⑤ 毎回課題の確認をし、不十分な場合は個別に指導をした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の評価の平均値は80.5点で、再試対象者は37名中2名であった。ほとんどの学生が標準的レベルに達し、理想的レベルに達した学生も多くいたが、一方で再試対象とならざるを得ない学生もいた。到達度自己評価については、ほとんどの学生が「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」と回答しており、平均値は3.9から4.7で、中央値は4.0から5.0であった。学生の学習量の確保のために、さまざまな工夫をし、学生の課題の提出の様子や小テストの結果からほとんどの学生が十分な学習時間を確保していたと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CPカリキュラムマップ上の位置付けからみでの内容的妥当性 本科目は「英語スキル科目」であり、中でも高等学校での学びを大学での学びにうまくつなげるための必修科目である。基礎基本の定着を目指して、基本的なことから丁寧に指導することに心がけた結果、予習や復習の状況や小テストや試験で一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>② DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績の平均値も高く、学生による知識理解についての平均値も高く、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③ まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目について、1名が「少しそうでないと思う」と回答しているもののほとんどの学生は「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と回答しているので、ほぼ目標は達成できたのではないと思う。オンラインの授業形態であったこと、科目の特性上、学生が自分の意見をまとめたり話し合ったりする場面は作りにくい、学生からの質問に対応する時間は毎時間確保しており、全体では質問しにくい学生のためには授業後の時間に質問を受け付けたり、メールで対応するなど今後も工夫を続けたい。毎回予習や復習が必要な授業の形態をとり、毎回具体的な指示を出していたが、30分以上の予習や復習の時間をとらなかったものが3名いた。課題に取り組みやすいよう解説の資料を配布するなどしたが、それでも取り組みにくい部分があったことも考えられるので、授業の中でも課題に取り組みやすいようにさらに説明を加えることにしたい。全員に十分な学習時間の確保を徹底させることができなかったといえるが、学生の学習量は例年に比べ大幅に増加している。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>小テストや試験の成績から、基礎的知識の定着については、概ね達成できた。30分以上の予習や復習の時間をとらなかった学生が数名いたが、全体的には学習時間は大幅に増えており、ほとんどの学生に学修の習慣ができたと考えられる。予習や復習については、毎回具体的に指示したり、課題を提出させたりするなどに加え、学生が学修しやすいように、課題の説明を書いた資料を用意した結果、例年より学生の学習時間は大幅に増加している。一方で、課題に取り組む時間をほとんど取らなかった学生が3名いたことから、課題の量や内容を今後検討したいと思う。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	ブラウン馬本 鈴子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英検演習Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>英検（実用英語技能検定試験）準2級から準1級の合格を目指し、特にリーディング力の強化を行う。またレポート課題では出題形式・傾向に合わせた問題演習を豊富に行う。14回の授業では、遠隔授業を念頭に、オンラインで自学ができるMy ELTの学習の進捗具合を評価に入れた。My ELTに関する感想として、「毎週必ずするので課題のリズムができてよかったです」というような肯定的な意見もたくさんあった中、「時々忘れてしまったので、心残りでした」という反省の声もたくさんあり、教員としては、成績の差異をつけやすく便利であった一方、学生の熱心な態度も伝わってきた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今回もコロナということもあり、外部試験を受けに行くことを積極的に勧めることができなかったので、どのくらいの学生が目標（英検準2級あるいは、2級に合格すること）を達成したかはわからないが、授業の中で合格に必要な能力をつけるための課題をこなし、「良」以上の成績を収めた学生は37名中28名であったので「やや達成された」と評価した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性・・・本科目は「英語スキル科目」であり入学したての学生が、初めて本格的に英語の資格試験合格へと進む橋渡しの科目である。学生は上記の項目で挙げたように、ほとんどの学生が優秀な成績を収めており、内容的には妥当であると考えます。②DP,行動目標からみでの内容的妥当性・・・本科目では、知識理解に重点を置いたもので、成績もさながら、毎回の授業の後での課題をほとんどの学生が終えるなど一定の成果を収めており、内容的には妥当であったと考えます。③まとめ・・・以上から、内容妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>去年は、リアルタイムで学生が単語テストを含めた課題をこなし提出し、テキストを進めながら、質問があれば英語学科独自のツールであるMy Study Portalを通して、個別あるいは、皆と共有して質問を行い、教員が回答するというスタイルをとった。単語テストは、こうした遠隔授業の技術的限界として不正をしようと思えば行えるものであったので、成績評価には入れないので成績は自己申告としたので、各回の課題、最終レポートで成績をつける必要があり、DP1の知識理解としての単語力（暗記力）を試す場が設けることができなかつたのが残念であった。しかし今年は遠隔授業として初めから準備ができたので、テキストの選択を遠隔授業で十分対応ができるものに変更し、Meetによる画面共有でのスライドを使った説明、チャットでの質疑応答、授業前後のオンラインでの自学などの場を設け、遠隔授業の利点を十分に活用できたと思う。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>レベルの違う学生を「英検演習I」「英検演習II」という二つのレベルでのみ分けるのは、難しく、しかも前者は全員が必修であることから、去年は、2級合格と明記したテキストを使用したため、少し無理があったが、今年は、準2級から純1級まで対応できるテキストに変更したことで、全員にあった授業レベルで広く学習を促すことができた。学習量の評価（授業の課題以外に具体的に取組んだ学習）について37人中18人もの学生が具体的に記述してくれていた。</p>
-------------------------------	---



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Malcolm Ross Swanson

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語プレゼンテーションⅠ	2	前期	選択	いいえ	55

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>As was the case last year, classes for Semester 1 were all online, and were taught through using the Moodle LMS "My Study" portal for coursework and synchronously with Zoom for communication purposes. We continued with the project based format we utilised last year as this matched the online format more. This allowed for greater control over student workflow and we were able to keep the students moving ahead at a similar pace. For this semester, we focused on the media itself, looking at design and usability. In semester 2 we will focus on content and delivery.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>The course was divided into skill-based activities that had to be completed and graded before being able to move to the next stage. This ensured that all students remained on target to complete the work. This generally worked well. Class A achieved an average grade of 78.36% while Class B achieved 88.67%. Lowest score was 72%, highest was 96%, with a standard deviation of 20.41. Three students from A Class failed the course because of attendance or work issues, and this led to the lower average score for that class.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

Knowledge and understanding (DP1) of the design and implementation of good presentations consistently improved. The nature of the work meant they needed to use critical thinking skills to move ahead, so DP5 was achieved. And their positive attitudes fulfilled DP4. All in all, the goals of all three DPs were achieved, particularly in B Class.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

For next year, the plan is for the content and coursework to remain largely the same as for this year as this program worked well for most students and good results were achieved. However, I want to add more supplementary, self-paced, asynchronous material so that more capable or self-motivated students can move ahead at their own pace. This will enable them to develop greater skills than just following the in-class activities.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

The rubrics we created for this course worked very well and enabled the students to see both grades and feedback in realtime. We will continue with this system next year, though will probably add more content to the rubrics. This will give students a clearer picture of their weaknesses and strengths.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語プレゼンテーションⅢ	3	前期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The first term course focused on providing English Department students with an opportunity to improve their ability to present Japanese culture to tourists and anyone else interested in learning about Japanese culture. We used the textbook "This Is Japan" (Macmillan), which focuses on traditional aspects of Japanese culture through the experiences of an exchange student and a home stay family.</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on passive participation, weekly class tasks, and presentations (80%) and a final assessment (20%). Student scores were well-balanced from the 60s through the 90s.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

The skills being practiced (DP5) were both practical and useful. The average student took the opportunity to improve their skill set.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year will be to integrate the huge amount of additional blended learning materials created over the past year and a half. New approaches and skills were required to successfully plan, distribute, monitor and collect the productive output of the students. This was achieved while also accurately tracking and assessing every single student up to the usual standards under the extremely difficult circumstances of the COVID-19 pandemic. I am very proud of what has been achieved the past year and a half on behalf of the students.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

The workload this term was easily double that of a usual term, but the results of the work have been remarkably successful. I look forward to returning to face-to-face classes after working so hard to maintain the academic standards of the university under such extreme circumstances.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Andrew Zitzmann

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語コミュニケーションⅠ	1	前期	必修	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>Fortunately, this class was available to students in a face-to-face format. As the course aims to improve communicative competence and provide ample opportunities for speaking practice, being able to do this in person was very helpful. The students were very keen to communicate and actively learned and practiced the various communicative codes presented in the course.</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された		達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>The goals for this course were achieved. The students did a great job with almost everyone getting either an A or S in the course. This is reflected in the evaluation scores of their effort ranging from 4.0 to 4.6. They evaluated the course between 4.4 and 4.6.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

The course is well placed on the curriculum map and serves as an essential base for all our communicative classes. Having the students with a positive attitude and interest in the course is a good sign for other oral communicative classes.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

The students did a great job and they felt that the course. They felt they could give their own opinion and talk freely in the class, as indicated by the 4.6 evaluation. They felt motivated to study English more (4.6) which is a good result for this group of students. With the addition of additional materials, as suggested after the first year of adoption of the textbook, classes have become more interesting and less repetitive.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

In general the course was a success. The students had a great attitude and were very motivated to learn, as mentioned earlier. At the moment I don't see the need to make any significant changes to the course, other than the annual adjustment to meet the needs of the participating students.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Marne Saddy

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語コミュニケーションⅠ	1	前期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course is a communication based class. In this class, students practice reading, writing, listening and speaking, but the bulk of the activities were speaking based. In addition to the use of dialogue drills for listening and speaking, students also practiced with information gap exercises, role plays, reading comprehension, and vocabulary building exercises. The textbook exercises, along with supplementary communication activities, helped students review and reinforce their basic English skills. None of the learning conditions were significantly effected by online learning, as the teacher was able to accommodate all forms of practice through pair work, small group work, and large class activities through real time online lessons.</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Assessment was made based on attendance (15%), small and large group participation (30%), quizzes and presentations (35%), and a final test (20%). Most students were able to achieve a final grade of 70 - 80%.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

Students took advantage of helping and receiving help from other class members, and by working together in small groups. Good classroom dynamics helped to create a positive and "safe" class atmosphere in which students feel more comfortable taking risks when expressing themselves in English. This, in turn, contributed to a high level of participation and increased understanding of the material. None of the normal learning targets in this class were significantly effected by online learning, and students progressed noticeably and had little if any difficulty succeeding in their online studies. While a lot of material was covered over the course of the semester, students seemed satisfied with pace and progress of the class.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

In a normal classroom environment, review of the previous class material is useful, but often took time away from new class material and practice. With online learning, students who needed to review the previous class material had unlimited access to material and lessons from posted on Google Classroom in previous weeks. This proved to be especially helpful for lower students who benefited from reviewing target language and skills for each unit at their own pace.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

More detailed instruction on note taking, completion of homework and lesson review may help keep students focused on clear objectives for each class. After initial instruction, students should be encouraged to review lesson targets again, and prepare for the next class using the posted review material and preparation homework.



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Malcolm Ross Swanson

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語コミュニケーションⅠ	1	前期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course is divided into two sections: Skills and Communication. For my classes, I taught "Skills". We used the textbook "UnCovered 3" (Cengage Publishing) which offers students many chances to refresh skills and knowledge they learned in their high school years as well as communicate using English in fairly authentic situations. During each lesson, students had ample opportunities to create conversations, question and answer each other, practice listening, and perform presentations. This was an excellent introduction to English studies at Seinan, and this class in particular worked on their English very proficiently.</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on 4 criteria (Classwork 45%, Vocabulary 20%, Final test 20%, and Presentations 15%). All students scored well in all areas. For the final assessment, grades ranged from 79% to 90% with an average of 83.32% with a standard deviation of 3.67. In CHleru e-Learning, all students reached their monthly targets of 300 miles .</p> <p>As usual, we also collaborated with the Extensive Reading course, working on vocabulary building together. For this we made use of the Quizlet app, and all students seem to be progressing well.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

This was an extremely focused and hardworking class, and they progressed well in all areas. They were strong in knowledge and understanding for DP1, and their positive attitudes and application to tasks meant they scored well for DP4 and DP5. Given the challenges of the current situation under pandemic conditions, it is fair to say that this class achieved all the DP goals that were set.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」

「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

This was my first year teaching the skills section of this course, so there was a fairly big learning curve. Generally, it went extremely well as the course textbook is very strong, and the supplementary activities I prefer to use matched well with the content. For next year, if I am teaching this course I will focus on expanding the supplementary activities so that the students have a greater choice to meet their learning needs. The whole vocabulary area of the textbook needs more focus with a prescribed set of items to be decided. This will help in their understanding of the content.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

At the macro level, assessment continues to be difficult when it comes to grading students because of the subjective nature of communicative activities. Using the content of the textbooks to assist with this has been useful. However, at the micro level we have continued to provide individualised assessment and advice that is relevant to each student, and we will continue with this process in the next year for this course.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Marne Saddy

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語ディスカッションⅠ	2	前期	必修	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This active learning course is divided into discussion and presentation based learning. Through active listening and reading comprehension activities, students have the opportunity to learn about relevant social issues which are currently being discussed on a global level. After gaining an understanding of an issue, students are guided through intermediate level discussion and information gathering activities, and learn key language to express individual opinions as well as respond and react to opposing opinions and conflicting ideas. Finally, students are encouraged to prepare and present on the specific topic using the language and knowledge they have acquired throughout the lesson.</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Assessment was based on attendance 10%, completion of weekly homework assignments 20%, online presentations 30%, unit quizzes 20% and a final test 20%. Final grades were mostly in the 60-80% range.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

Students took advantage of helping and receiving help from other class members in small, private group settings. Good student dynamics help to create a positive and "safe" group atmosphere in which students could feel more comfortable taking risks when expressing themselves in English. This, in turn, contributed to a high level of participation and increased understanding of the material. With online studies, students were also encouraged to move outside of their usual cohort group to practice various forms of information gathering techniques which could be used with friends, family members and across-generations to gather ideas on the assigned topic. From this, students created original presentations which they practiced, presented and received feedback from the teacher. Due to the large number of students in the class, presentations were restricted to 2 minutes, thus limiting the depth and scope of topic research.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Online language acquisition and presentation classes can be especially difficult for both teachers and students. Teachers must pay attention to each student and ensure that they are actively involved and completing activities as requested. Students must communicate more efficiently and effectively with their teacher and classmates in order to confirm understanding or reach out for help. With small breakout rooms and strict attention, both teachers and students can be successful if diligent.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

The teacher's strict attention to attendance taking as well as weekly grading and active monitoring of homework is an absolute necessity with online learning as some students need more teacher encouragement, reminding and pressure in order to keep up on assignments without the assistance of an in-class friend group. This requires an added commitment by the teacher outside of regular class time which can be difficult when attending to so many students, in a variety of classes at various universities. Time management skills, organizational skills, and teaching experience are key to achieving good outcomes.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Paul Collett

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語ディスカッションⅠ	2	前期	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The aim of the course was to help students develop discussion skills and to be able to clearly present and explain their opinions about the topics under study. With the shift to online classes, a lot of what would normally have been done as speaking activities had to be done in other ways to allow students to share their opinions in ways that could be checked and allow feedback. This involved having students do more shared writing type activities than we would normally have worked with.</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった		やや達成されなかった		やや達成されなかった
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Assessment for the course was based around students' capacity to engage in discussion activities, showing a willingness to express their opinions, work with others to reach consensus on discussion points, and show the ability to reflect critically on ideas of others, either verbally or through written exercises. With the COVID-19 situation and the need to move classes online, this created a number of challenges which I feel prevented the students from reaching their full potential.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

Having to do the class entirely online created numerous problems. Technical issues, along with uncertainty about how to best present and complete activities meant progress was slower than had been hoped for. In hindsight, an effective system to allow students to indicate if they understood the aims of activities, and if they were able to complete them, would have been helpful.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」  
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

As we were online and it was difficult to keep track of student discussions, a lot of the activities involved using shared documents that the students worked on in pairs or groups to exchange their ideas and present their opinions about the topics under discussion. This was less than desirable, and meant that the students had to spend time not just discussing the topics, but also typing up and submitting the documents. This put undue pressure on the students to complete activities and submit their responses by class deadlines.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

Due to the COVID-19 situation, having to teach the class online was a difficult experience. I hope we will be able to return to regular face-to-face classes in the future as the course expectations clashed with the problems of trying to do everything online, making things challenging for all involved.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Andrew Zitzmann

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語ディスカッションⅠ	2	前期	必修	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course aims to introduce students to discussion strategies and expressions for a variety of topics. We hoped that the students would use the communicative skills they learned in their first year and apply them to this course's conversations and discussions. In addition, the use of more substantial presentations and speeches are introduced to get the students to think more deeply about the various topics and be able to talk about the issues with their classmates.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>For the most part the goals of the course were achieved. Although some students had trouble with the concepts there was overall achievement and improvement with their abilities. They were motivated and interested in the issues presented and this helped them to achieve the goals of the course as represented by almost all students getting A or S in the course.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

The course is well situated on the curriculum map as a transition from basic communicative skills to the deeper research needed for third-year project classes and seminars. 75% of the respondents said they were interested in the course and they were motivated to learn more about their field of study (4.3).

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

The largest problem encountered was with the fact that we were online. This made it very challenging for everyone. Being face-to-face would have made discussion and progress in the class much more substantial. That said, there were some online aspects, such as being able to practice and edit their speeches before submitting their final video version, which helped the students improve their communicative skills.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

The course concluded successfully, although being online did pose some challenges for both the instructor and the students. Group discussions were difficult to have in larger groups as one person ended up having to manage the group work. Pair work, however, seemed to work well in breakout rooms.



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Malcolm Ross Swanson

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語プロジェクト I	3	前期	必修	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The aim of this course was to continue from the 2nd-Year 英語ディスカッションI&amp;II courses and further develop the students' discussion and research abilities with challenge based learning. Four current topics were selected. Topics were examined in an active learning environment where the students discussed the issues in greater detail and completed research to gain a better understanding of the issues associated with the topic. Students were expected to work collaboratively on the various challenges and then share their findings with class members via presentations and discussions in order to offer ways to resolve the challenges that the topics face.</p> <p>This class was conducted completely online only in a synchronous-learning format using a combination of Zoom, our Moodle My Study portal, and Google Classroom and the other Google apps.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on classwork and final activities (presentations, debates, etc) in each of 4 topics as well as a personal research project on Vaccination. For each topic, they could receive 20% to a total of 80%. They also received 10% for a mid-semester project on note-taking, and 10% for for the research project, making a total of 100%. Being online meant that attendance was absolutely no problem, and student focus on tasks was exceptional, so final grades were higher than average. In fact, the average grade was 89.30% with a high of 94% and a low of 76%. The standard deviation was 4.20.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

Students showed a high level of knowledge and understanding for DP1, and due to the nature of the course, there was a large amount of judgment required for DP2. Motivation was never a problem for DPS, and all students participated well. For DP5, students called on the skills attained in previous years, and used these well. Therefore, the overall achievement of all DPs was high.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Generally, I was very satisfied with the outcomes. The students all performed very well, and the learning outcomes were of a high standard. Being online caused its own issues, but the students adjusted well. Some of the students commented that the amount of preparation and research was high when compared to other classes, so this might need to be evaluated in the coming year. Generally I think this complaint refers to classes in general, rather than this one in particular.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

The system of assessment used in this course—being ongoing and task-based—works very well. Students are constantly aware of their grades, and this is an excellent motivator for improving performance. As grades were very high again this year, we may need to look at more demanding standards to push them more. However, this year was hopefully an anomaly with once again being online, so in a normal class situation this might not be such an issue.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Leaver Soren Eric

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語プロジェクトⅠ	3	前期	必修	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業では、リサーチとプレゼンテーションに重点をおいておりました。学生は準備を十分にして授業にのぞんでいました。学生の参加意欲は高く、プロジェクトとして英語での様々なイベントに関するリサーチをおこなったり、またそれについてのプレゼンテーションをしました。英語を使って学生がプレゼンテーションをする機会が授業のなかで多く取れたと思います。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体としてのトータルの成績、理解も高く、準備も良くできておりました。インターネットの利用も理解し、課題提出もよくできておりました。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>このクラスにおいて学生たちは、それぞれのプロジェクトの選択と研究に挑戦し、継続的な努力の結果、授業の要件を満たす情報源を見つけることができました。このような自発的な学習方法自体にも利点があると思われることから、DP上の位置づけは妥当だと考えます。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今回の授業では、教え方は効果的だったと思われます。。学生とのコミュニケーションもよくとれていたと思います。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>このクラスの全体的な進行には満足しています。</p>
-------------------------------	-------------------------------

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Leaver Soren Eric

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
グローバル英語Ⅰ	4	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業では、時事問題についてのディスカッションに重点をおいておりました。学生は準備を十分にして授業にのぞんでいました。学生の参加意欲はやや高く、英語での世界的なイベントに関するリサーチをおこなったり、その詳細に関してプレゼンテーションをしました。英語を使って学生がディスカッションをする機会が授業のなかで多く取れたと思います。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体としてのトータルの成績、理解も高く、準備も良くできておりました。インターネットの利用も理解し、課題提出もよくできておりました。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

このクラスにおいて学生たちは、それぞれのプロジェクトの選択と研究に挑戦し、継続的な努力の結果、授業の要件を満たす情報源を見つけることができました。このような自発的な学習方法自体にも利点があると思われることから、DP上の位置づけは妥当だと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今回の授業では、私の教え方は効果的でした。学生とのコミュニケーションもよくとれていたと思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

このクラスの全体的な評価には満足しています。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Paul Collett

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
リーディングⅠ	1	前期	必修	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The aim of this course was to help students improve their reading. During the scheduled class time this involved doing reading and vocabulary activities. Outside of class, students were expected to engage in regular reading homework, with the goal being to read around 150,000 words over 15 weeks. The XReading virtual library and LMS was used to provide students with reading material and grade out-of-class progress.</p> <p>Most students engaged in the class seriously, and kept up with the required work. Being online presents a number of difficulties, but as it was a reading class in which students generally work at their own pace, it was fairly easy to make the transition online and keep track student progress.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Class assessment was heavily weighted towards the outside class reading component of the course (60%) with the final test contributing 20%, and some small projects and class performance making up the remainder of the grade. Students received weekly feedback on their reading progress, along with guidance and opportunities to improve their performance if they seemed at risk of failing. Final results were similar to previous years. The average grade for the class was 82 (n = 58, sd = 16.3) and slightly less than 1% failing due to lack of attendance or insufficient work.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

This course is quite demanding for the students, with quite a lot of outside reading time required. However, the level of participation and commitment was generally high, and a clear understanding and commitment towards doing the required out-of-class reading necessary to successfully complete the course. The students who focused on the classwork and managed to meet their regular reading goals all reported a sense of satisfaction with developments in their reading speed and understanding. However, although we are using a lower-level text with the A class, a number of the students find the content difficult due to low levels of vocabulary and slow reading speeds. It was difficult to know for some how much they were actually engaging with, and understanding, the reading content.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

The overall goal for future courses is to continue to work on increasing reading fluency, and self-efficacy for reading. A large part of this involves making things easier for students to access and read books at a suitable level, and for both the instructor and student to easily track students' progress. Fortunately we had access to the XReading system here which was a great help with the course.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

This has not changed from previous years. The course is very much focused on attaining certain goals - reading X number of words, or X number of books, but at the same time demonstrating comprehension of the material being read. We are seeing similar outcomes as previous years, but also as in the past, for some students the focus on building comprehension is overlooked, as they try only to attain the numerical outcomes. Overcoming this kind of attitude is an ongoing challenge. Secondly, finding a way to help students who have trouble engaging in the out-of-class reading component of the course is important, as these students invariably are unable to successfully complete the required outcomes. Once we can get back to face-to-face classes, a proportion of class time will be set aside for extensive reading to ensure all students are reading for at least some time per week. Finally, there will be a continued focus on helping students set realistic goals and plan their reading homework effectively, which seems to be having some success.



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	大谷 浩

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
リーディングIII	2	前期	選択	いいえ	44

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>新型コロナウイルス感染症関連の報道をはじめ、社会で実際に報道されている「生の」記事などを取りあげ、学生達が興味を持って読みたくなる素材を集めることに留意した。但し、難しすぎて諦めてしまうことがないように、英文の難易度や長さに配慮して選定した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された		達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>ワクチン接種後の副反応への対処方法や、子供向けだが大人も考えさせられる絵本など、良い教材を選ぶことができ、受講学生達も興味を持って読んだと思っている。他の授業で、日英の表現に気をつけて翻訳する時間をあまり持てていないようで、その練習としても効果があったようだ。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

妥当である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

昨年度は、教材として選んだ英文が難しすぎる、長すぎるという声があり、やる気を削いで閉まった部分があったが、今年はそのに配慮して選定したこともあり、全般的に興味を持ち続けることができたと思っている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

新型コロナウイルス感染症関連の報道をはじめ、実際に役立つ内容を取りあげたこともあり、目標は十分に達成された。今後も同様の配慮を続けていきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	大谷 浩

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語学概論Ⅰ	2	前期	必修	いいえ	56

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講学生の英語力や知的好奇心を把握し、それを最優先しながら、抽象的概念の説明で終わらないように、興味を引きそうな具体例を提示しながら授業を進めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎回提出を求めるリアクションペーパーには、ほぼ全員がぎっしりと授業内容のまとめや、感想を書き綴った。学生に取ってはリアクションペーパーは、手間のかかる作業ではあるが、「講義のあとに授業内容を振り返ることで、自分の頭の整理に役立つ」という積極的な意見も混じるようになり、十分な手応えを感じた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

英語学科の開講科目としては、全ての基礎となる科目である。基本的英語学・言語学の分野に触れることは、英会話学校に通うなどのスキル重視の運用力養成と、一線を画する重要な部分である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」  
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

毎年工夫を重ね、その成果を確信できる。今後もさらに改善してゆきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

十分達成したと考える。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Andrew Zitzmann

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ライティング基礎	2	前期	必修	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The two main goals of this course are to review basic grammar and to introduce various writing structures, beyond the sentence level. Having the class face-to-face this year allowed for much more individualized support, which is reflected in their evaluation of confirming and correcting their knowledge (4.8).</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Overall things improved compared to last year. With more individualized support it was easier to ensure that the students understood the material clearly and problems could be dealt with in a timely manner. Issues that one student had could more easily be found and then explained to the rest of the class. That said, as the material became more difficult not all the students were able to keep up with the progress in the course.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

This writing course sets the base for the next semester's course. Writing is not a popular skill, yet it is essential for success in many of the classes. As such the course is well placed within the curriculum map.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」  
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

There are not many changes to recommend at the moment. The students evaluate the course with scores ranging from 4.3 to 4.6. It is felt that the course as it stands provides a good base for the students to move forward in further writing courses and hopefully in assignments for non-writing based courses. The grades for the course ranged from C to S with a majority in the B and A range. Those with C scores tended to be those who put in the least effort. Those with B scores tended to work hard, but had problems with some of the concepts. A and S students worked hard to complete the course.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

Overall, I was satisfied with the way the course was conducted. The students generally had a good attitude and put in good effort to succeed in this course.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Kristen Maree Sullivan

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ライティング基礎	2	前期	必修	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This introduction to writing course had two main aims: for students to revise important grammar and vocabulary points through actual writing activities and to learn about the fundamentals of paragraph writing, in particular about paragraph structure. In addition to this, I aimed to encourage the students to be more conscious about their learning aims and points of difficulty with writing through specifically structured writing and feedback reflection assignments.</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>The majority of the students taking the course achieved the course aims, with many of them showing a very high level of achievement. In regards to paragraph writing, although this was a sub-aim of the course taking up only 15% of the overall course time, most students displayed an understanding of paragraph formation, although there was evidence that some students had difficulty writing within this structure. Regarding the writing assignments, the level of effort made differed student to student. Some students thoroughly understood how to engage with the consciousness-raising activities and did an exceptional job, while other students engaged superficially with these activities, leaving it unclear if this was due to a lack of understanding about how to more deeply engage with the activity, or a lack of time or interest. While feedback was given about how to more deeply engage with the assignments, this did not always lead to a change in performance.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

There seems to be no particular problems regarding this.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

Writing assignments were set for nearly every week of the course in order to encourage students to spend more time writing creatively, and to be able to give them individualized feedback. However, it soon became very clear that most students were overloaded with homework and assignments with all of their courses, which became worse with the shift to online classes during the semester, and it became necessary to adjust the assignments for this course in light of this. The assignments were seen as a chance to encourage experimentation with writing and an opportunity to give individualized feedback, however engagement with this can become superficial if students are overwhelmed with too much work.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

Overall, the majority of students did well in the course, and a number of students expressed that they gained confidence with their writing, and that their enjoyment of writing in English improved over the course of the semester. However, I would like to continue thinking about the best way to support students' experimentation with their writing, and the best way to use class time to do this, as well as more effective ways of providing feedback, in order to improve the course for next year.



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	大谷 浩

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
エッセー・ライティング	3	前期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度の反省を元に、受講可能学生をGPAで上位30名に限定した。今年度も遠隔授業となったが週に1度登校するため、今学期最後に登校する際に、課題を書き込んだ教科書を提出するように指示した。これにより、授業中に直接取りあげないUNITEにも取り組ませることができた。昨年同様、「書くためにはきちんと読めることが重要」であることを理解させた上で、サイトトランスレーションを授業に取り込むことにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>ほとんどの学生は毎回課題をきちんと提出し、サイトトランスレーションの練習にまじめに取り組んだ。ライティングの基礎的な構成を、授業の回を追うごとに理解し、定着していった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

妥当である。欲を言えば、もう少し基礎的なライティング力が付いた上でエッセイに移行するほうが指導がしやすいが、現状を受け入れその範囲でやっていく他ない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

遠隔でも十分に進めることができた。ただ、学力が弱い者にとっては、隣に学友が座っていれば授業の進行などを確認できたはずの場面でそれができず、付いていくことに戸惑いがあった面があるかもしれない。これは遠隔授業が持つ弱点である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全体的に上手く進めることが出来たと思っている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	ブラウン馬本 鈴子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語文学Ⅰ	2	前期	必修	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>必修の科目なので、文学を選択したい学生もそうでない学生も受講することとなり、英語学科には珍しく大人数のクラスとなるが、そのような中文学の知識や楽しみを教授できるように工夫している。大切にしていること、重点を置いていることは以下の通り。英語で書かれた世界の文学の特徴を、その歴史の流れと関連づけながら重要な作家や文学作品を紹介する。またそれらの作品の原文を部分的に読む機会も設ける。早い時期に沢山の文学作品に触れて、読書の習慣を身につける。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価においては、図書館で本を借りることがあまりできなかったが、今後は、図書館の利用も促しながら、一方ですぐに電子媒体でもアクセスできるEbookが利用できるような環境をどのように準備できるか検討してみたい。しかしながら、そうは言っても、学習量の評価（取り組んでいない理由）の自由記述欄には、「他の課題で手一杯」「授業の内容で十分」「授業の課題で精一杯」というような記述が18名もある。この半期において3冊もの本を扱うし、その課題に重点を置いているので、仕方ないような気もする。一方で学習量の評価（取り組んだ学習）には、24名もの回答があり、「原作を調べた」「インターネットで調べた」「英語の本を自分で借りた」など図書館以外でやった学習内容がたくさん記載されており、学生の予想以上の積極性が伺え、感動した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>今回の授業アンケートの自由記述にあった4名からの「担当教員への意見」では、英文学に対し、「もっとたくさんの本を英語で読んでみたいと思えるようになりました」など、建設的な意見もあった。1年で学んだ内容からより専門的なないように深化するという意味において、位置付け的な内容は妥当であったと評価する。また、この授業を通して、文学が初めて好きになり、3年生で文学のゼミを選択してくれる学生も毎年多くいることが励みになっている。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方では、文学+映像資料との併用に対する肯定的な意見がアンケートで多かった。「授業の質評価」去年同様に(4)が低評価となっているが、授業の最初に行う確認問題が(4)を表現する場であったが、うまく活用されなかったということであろうか。学生は毎回たくさん書き込みを行ってくれたのであるが、確かに、記述は多いが、話し合う、発表する、という場が提供できなかったのは残念である。今後の授業形式を工夫したい。今思えば、コロナ禍にあり孤立した立場におかれた学生にとって、そのような活動こそ心の拠り所になったかもしれないと反省している。Meetではなく、ブレイクアウトルーム機能があるzoomを使うべきだったかもしれない。教師-学生間における意見の交流という面においては、いつも以上に、メールを個人に頻繁に送り、ストリームでの書き込み、声かけを学生個人個人に毎回たくさん行ったつもりであり、ネットでの繋がりとということもあり、学生も対面の授業内以上に些細な質問をしやすい雰囲気づくりができたことは良かったと思う。学生からの「担当教員への意見」ではここでは紹介しきれないくらいの肯定的な意見の長文を25名もの学生が書いてくれた。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>この授業を始めて、もう数年が経ち、授業内容は成熟期にさしかかると思えるが、文学という専門領域を教えるにあたっては、教師の英語教員という枠を超えた深い専門性が授業の質に大きな影響力を持つ科目である。そして次年度以降その研究の内容を授業での情報提供や配布資料の充実という形で還元していけたらと思う。達成状況としては、総合的には遠隔授業への全員の高い出席率や完成度の高いレポート提出率というエビデンスがあり、成績もA26.3%,B42.1%,C15.8%,D10.5%と概して良かったことから「達成」としたい。後期の「英語文学II」は選択科目であるが、ほとんどの学生が履修していることも踏まえると、この「英語文学I」の授業スタイルや、自己目標達成においてある程度の満足をしていただいたことと表れであると考えている。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	加藤 明子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語通訳演習Ⅰ	3	前期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>通訳現場で「使える英語」を身につけるためには、「リスニング」と「スピーキング」の「訓練」が欠かせません。授業ではこの「訓練」をするために、主に以下の通訳技術を教え、繰り返し練習をしてもらいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイック・レスポンス</li> <li>・リテンションとリプロダクション</li> <li>・ディクテーション</li> <li>・シャドーイング</li> <li>・サイト・トランスレーション</li> </ul>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	達成された	やや達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業がすべて遠隔でしたので、一人一人の学習態度や意欲、理解度に気をくばりながら授業を進めることが難しいように感じました。その反面、提出された課題の内容を毎回細かく確認することができたので、的確なフィードバックや評価をすることができたように思います。また、遠隔授業では学生の課題確認に多くの時間を費やし、発音や文法の質問があった場合には丁寧に答え、特に質問がない学生に対しては次回の動画を通して全体にフィードバックをおこないました。授業で学んだ通訳技術や知識を英語全般の学習に活用して欲しいです。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

選択科目ということで、「通訳」に興味のある学生だけでなく、将来「英語」の能力を仕事に活かしたい学生が多かった。「英語」の能力や知識は、いろいろな職業分野で求められることが多く、この知識をそれぞれの分野で活かし、さらなる見聞を広めて欲しい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業ではテキストで通訳技術を学ぶだけでなく、通訳場面を設定し、実践的な通訳練習をおこないました。授業で学んだ知識や技術を、ボランティア通訳など実際の場面で活用して欲しいので、そのような情報提供も今後していきたいです。またシラバスでは課題のみで評価し、定期テストをおこなわないと表記しましたが（後日修正）、課題提出が不十分で学習効果が十分に得られていない学生さんもいたので、定期試験を通して評価のチャンスを再度与えたいという思いがありました。学生さんからもいろいろな意見がありましたが、定期テストで知識が得られ、学習効果を客観的に判断できるのでおこなってよかったのではないかと考えています。ただ、シラバス執筆時は新型コロナの影響を予測することが不可能で（クラスのクラスター、大学での感染状況、福岡での感染者全体の割合など）、「確定」したことが言えない状況でした。また、オンラインで試験をおこなうことが難しいというのも事実です。対面授業を一度もできないというのは、皆さんにとって教育上学習効果が少ないと判断し、以上の理由から定期試験をおこないました。試験日にオンライン授業の課題のフィードバックをおこない、対面で試験をおこなうことによって、皆さんの成績を公平に評価できたのではないかと思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「通訳」能力を身に着けるためには、授業だけの学習時間だけでは難しいので、それぞれ自分の弱点を把握し、課題を設定してもらい、その目標達成のために、しっかりとサポートしていきたいです。学生の様子を注意深く見守りながら、できるだけ一人一人にあった授業内容にし、わかりやすい授業を常に心がけていきたいです。学習意欲が高められるよう授業内容の向上に努め、今後も教材研究をしていく予定です。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Andrew Zitzmann

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
欧米文化交流研修B	1	前期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The aim of this course was to introduce the students to western culture and provide a practical period of practice. In other years the focus was on one particular country, but as COVID-19 did not allow us to go abroad it was decided to provide a more diverse program to the students. The practical portion of the course could not be done overseas, so a site within Japan (Shizuoka) was found at which the practical training could be held. Under the circumstances the students accepted the situation. They were all interested in the course 「関心のある内容である」(100%). They were definitely ready and eager to learn about western culture.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	やや達成された		達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Although the students had lots of motivation and a good attitude there were a couple of factors which hindered the success of the course. Firstly, being online made it more difficult to conduct the discussions in a more natural setting. Although other practical ways were used they were not as effective. This is reflected in the evaluation for opportunities to speak of 4.8, but only 4.2 for the improvement of communication skills. Another problem was the fact that we had to cancel the practical training in Shizuoka and hold alternate sessions online. For these two reasons it was felt that the course was not a complete success. The students did, however, feel that they gained something from the course, as one student said in her comments 「...いろいろな国について知ることができてよかったです。」</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

This course, under normal circumstances, offers the opportunity to pull together many different aspects from other courses and put them to practical use. Unfortunately, the pandemic situation at the time of the course did not allow for the full benefit of this aspect of the course.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

There were many conditions set on the course due to the pandemic, as the situation changed on several occasions. Due to some of these changes the course could not be run as initially intentioned. Although this posed several challenges it was felt that the course did succeed to a certain degree. It is hoped that the situations experienced during this term do not repeat themselves and that a steadier and more satisfying experience can be had next year.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

The course was generally speaking a success, as the students provided positive feedback. It is hoped that the pandemic situation will improve and allow the course to at least have the practical component, even if it isn't possible to go overseas.



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Malcolm Ross Swanson

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
メディア英語Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>As in 2020, classes for Semester 1 were all online, and were taught through using a combination of the Moodle LMS "My Study" portal for coursework and synchronously with Zoom for communication purposes, along with the school's Google Suite. This is the first media class that the students experience, and most of the course is taken up with working on basic skills, and getting them up to speed on the CHleru e-learning system. Each week, they were given goals to achieve and specific items to work on. We also took this opportunity to do some IT skill building. We provided instruction on how to use Google Drive's suite of tools (Docs, Sheets, Slides, and Forms) and how to share and work collaboratively on projects. Because the class was online, it was almost impossible to teach them all synchronously. We got around that by giving 20 minutes to each of the four classes to work with the teacher while the rest of the class worked separately on projects and activities. We would all meet at the end of the class for 5-10 minutes to share and summarize what we did that day, ending with a free talk time for students who wished to use it.</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Attendance was not a problem at all (apart from one returning Year 2 student), and completion of tasks was handled well by all of the students. Apart from the returnee student, all other students passed the course with grades ranging from 73% to 96%. The average grade was 86.95% with a standard deviation of 15.02.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

In terms of willingness to work and attitudes, most of the students did amazingly well, given the online circumstances and the fact this was their first semester at school. They were held back a little by their basic knowledge and understanding, but that is very understandable given they had just begun classes, were working online, and had never met their peers or teachers. The IT skills they gained were extremely useful for them, and we can already see the carry over into other courses.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Once again, our goals for next year are largely dependent upon whether we are online or not. If we come back to face-to-face, then the programme will continue as planned for this year, 2021. However, we are also prepared and ready should we be back online again. We learned a lot in the first semester, and will carry that knowledge through to the online classes using the a whole suite of activities and resources we have built up. Being a media class, the list of available online resources is massive, and we fully intend to implement as many of them as possible.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

As in all of the media and presentation courses, the class was assessed in a totally task-based manner. For each activity, they were given a grade which they could access at any time to check their progress. For students who were slipping behind, it was a quick process to provide feedback to them and encourage them to catch up. We don't envisage any need to adjust this process significantly. We do, however, need to implement some positive achievement system for those students (the majority) who submit work punctually and to a high standard.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
時事英語入門	3	前期	選択	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>時事という分野は、難解なイメージが伴いがちである。そうした点を払拭するために、時事英語そのものだけでなく、取り上げた英文記事の背景知識にも言及し、それらを日本語で説明することで、内容自体にも学生が興味・関心をもてるように心がけた。また、最新の時事英語を毎日更新しているウェブサイトを紹介して、授業以外の時間にも時事英語にふれる機会を提供した。今年もコロナ禍による遠隔授業となったことで、対面授業とは異なる授業環境に戸惑うこともあった。また昨年に比べて受講者数が大幅に増加したので、個々の学生の理解度を把握するのにも時間を要した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>DP1の知識理解に関しては、中間試験の平均点が、30点満点中28.9と非常に良好な結果が得られた。定期試験についても中間試験同様、50点満点中44.9であった。これは通常の対面式の試験と異なり、学生側に自分のペースで答案を提出できるというメリットに起因するものと考えている。また対面と違って発言しやすいという意見もあった。これは積極的に授業に参加・貢献している点を評価する授業貢献度の項目において、20点中18.8という平均値が出ていることがその証左である。昨年よりも受講者が増えたにもかかわらず、学生が主体的に発表したことが奏功したと言える。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

時事的分野は、普段学生が意識しないとふれる機会が少ない分野であり、新聞、ネット、テレビなどのメディアで内容を見聞きすることはあっても、それを英語でどのように表現するのか、というところまでフォローしている学生は極めて少数と思われる。そうした前提に立ち、まずは記事の背景を含めた内容の理解を最大の目標として授業を展開した。学習到達度の自己評価においては、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、という設問に対して、全員が「そうだと思う」を選択している点などから、内容的妥当性は確保されていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

昨年度同様、今年もコロナ禍による遠隔授業だったが、昨年は初回から授業展開に失敗したが、今年は開講時から概ねスムーズに導入することができた。対面授業と異なり、遠隔授業では学生の通信環境に差異が生じることがあったため、重要事項を何度か説明したが、すべての学生と円滑なコミュニケーションが取れたかという点については、やや疑問の余地があり、今後の課題である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

到達度自己評価における(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、という評価項目に対して、全員が「そうだと思う」を選択しており、時事英語にまずは慣れ親しむという入門レベルの目標は達成できたと思われる。実際、自由記述においても、「学生が発言しやすい雰囲気先生が作ってくださいました。そのおかげで、予習するやりがいがあると思いつつ、取り組むことができました。毎回の授業が楽しかったです」「とても分かりやすい授業でした」「とっても楽しくわかりやすい授業でした」など、非常に好意的なコメントが記載されていた点もその証左であるといえる。来年度も対面・遠隔の授業形態にかかわらず、学生の授業満足度を向上させる取り組みに励んでいきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Kristen Maree Sullivan

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
異文化間コミュニケーションⅠ	2	前期	選択	いいえ	56

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The aim of this course was for students to gain an understanding of the fundamental concepts of intercultural communication, and to try to think about the connections between these concepts and their own lived experiences, the experiences of others, and various issues in society. Having students engage in activities and discussions to get them thinking about these issues in more concrete ways and to share their thoughts is something that I wanted to make more use of. However, my plans here were restricted due to COVID-19 related restrictions. Nonetheless, when we were online I used breakout rooms to facilitate discussions of intercultural communication case studies and activities. Moreover, I tried to introduce additional materials and resources, such as newspaper articles, audio-visual materials, and specific activities to help students see how the concepts covered play out in real life. This is something that I also tried to support through the assessment activities: weekly reflection papers and a final paper.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された			やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>The majority of students displayed a good understanding of the course material, and were able to use it to explain their own experiences and relationships, as well as issues within society. This was clear through the weekly reflection papers and their final papers. Regarding the final papers, while there were some truly outstanding pieces which were well-structured and well-written, showing high levels of understanding of the course content and keen analytical skills, there were also many which suffered due to a lack of understanding about the basics of writing an academic paper.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

There seems to be no particular problems regarding this.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」  
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

I had presumed that students would know the basic rules and approaches for writing academic papers, however many required more guidance regarding this. I spent the first class of 異文化間コミュニケーションII in the second semester providing an overview of this, however this is something that I would like to incorporate within 異文化間コミュニケーションI next year.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

Discussions and activities are crucial for developing a deeper understanding of the subject matter covered in this course. However, how to achieve this when there are social distancing restrictions was a point of frustration this semester. I made efforts to introduce alternative activities, however I feel that more interaction in the classroom would improve student engagement and understanding. I am hoping that the situation with COVID-19 next year is such that it will become possible to incorporate more discussion-based activities.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Kristen Maree Sullivan

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
エリア・スタディ I	2	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The main aim of this course was for students to begin to learn about key elements of Australian history and society through the lens of race, specifically looking at the topics of multiculturalism and Indigenous Australians. To help students understand how they can go about learning more about a specific society and culture, various materials were used, including statistics, newspaper articles, movies, music, and other online resources. Moreover, as the course was conducted almost entirely in English, I was careful to support students' understanding through the use of visual materials, revision quizzes, and various pair and group activities.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>The majority of students displayed a good understanding of the fundamental learning points, engaged deeply with the materials, and made a good effort at using English to engage with difficult content matter. There were occasional incidences of misunderstanding when engaging with certain authentic materials, and in retrospect I felt that I needed to incorporate more chances to work with students on this. For the students' research-based assignments, some students showed extremely high levels of analysis, and the ability to apply what was learned in class to their own topics, while others seemed to struggle with this. Supporting students' critical engagement with topics and basic research skills is an area where more work is needed.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

There seems to be no particular problems regarding this.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

As the course was conducted entirely online, it was sometimes challenging to accurately measure students' levels of understanding during actual class time, and to provide them with necessary feedback and support. Also, as stated above, supporting students' ability to critically engage with topics and information is an area that I would like to continue working on when teaching this course in the future.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

Overall, I felt that the majority of students achieved the aims of the course, and that many were also able to critically engage with the topics and materials. However, some students need more support with this, and I would like to think more about how to provide this support within the inevitable time and spatial restrictions that we have to work with. I would also like to think about how I can incorporate chances to help students strengthen their basic research skills.



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際経済入門	2	前期	選択	はい	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「専門教育科目」の「国際理解科目」の一つである本科目は、「異文化コミュニケーションI」「エリア・スタディI」と共に1年次に履修した国際理解科目の発展的内容を取り扱うことが予定されている。この点については受講動機においても「関心のある内容である」という項目が56.8%と相対的に高い選択率を示していることから授業への期待を窺うことができる。ただし、「単位数を確保する」という受講動機の選択率が77.3%と最も高いため、国際理解科目としての認識が全体的に低かったと想定される。各回の授業においては観光文化学科との合同授業であったため、レジュメを作成・配付することで国際経済の基本的な知識を説明していった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>DP1～DP3の項目の平均値はほぼ4.0以上をマークしているため、これらは達成されたと考えられる。ただし、DP4である「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目の平均値は3.0という平均値となっているため、全体としてはやや達成されたと言わざるを得ないだろう。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP全体の平均値はほぼ3.8以上をマークしており、内容的妥当性については特に問題がないと思われる。ただし、CPについては当該科目が「国際理解科目」の一つであり、英語学科の学生にとっては入学後初めての経済系科目と言えるため、内容的妥当性が全くないとは言えない。したがって、内容的妥当性については今後、若干修正する必要があると言える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目は英語学科と観光文化学科の合同授業であるが、英語学科の学生にとっては入学後初めての経済学系科目であるため、経済学の基本的な素養を身に付けて頂くためになお一層の工夫が必要であると感じた。具体的には、「授業中に自分の意見をまとめる、話合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目の平均値が3.3と比較的低かったため、今後は学生に対して発表の機会を設けるなどの工夫が必要である。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>前述したように、本科目は英語学科と観光文化学科の合同授業であるが、英語学科の学生にとっては大学入学後、初めての経済系科目となる。したがって、できるだけ平易な言葉で経済学の基礎的な知識を説明するとともに、発表の機会を設け意見をまとめるなどの作業を通じて知識の定着を図っていきたいと考えている。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	大谷 浩

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
インターンシップ	2	前期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>毎回のことであるが、事前にその年のインターンシップ受け入れ状況を外部講師と綿密に確認し、受け容れる受講学生数を決定した。今年度は就職課で紹介してもらえる研修先も、授業での認定対象とすることで昨年度より多くの学生を受講可とした。就職課とも、企業から受け取ることができる評価表などがほぼ同一であることを確認し、評価に支障がないことなどを確認した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>ほぼ全ての学生が積極的に授業を受け、研修先でも高い評価を受ける学生が多かった。ただごく一部で、研修先から「やる気があるのか」という苦情に似たコメントをもらったという事実があった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>カリキュラム改正によって、3年前期での開講に変更することを所望しているが、他教科の動向を踏まえ、諸般の事情でカリキュラム改正をいつどのような形で実施するのか、検討中である。卒業後の進路（就職）は大学生後半を迎える学生にとって重要な問題であり、企業において就業体験を積むことは貴重な体験である。その体験を授業を通じて、社会人マナーなどを身につけ、また企業や業界研究などを行うことは非常に有益かつ妥当である。学生達からも「貴重な経験ができた」というコメントが寄せられた。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度は、授業担当者と外部講師の連絡がやむを得ない理由で十分ではなかったため、今年度はその点の不備が内容に留意した。改善出来たと思っている。 一般的に授業進行は順調であった。但し、授業当初から受講生に対して「この授業は必ずしも希望する企業を紹介して、就職活動の手伝いをする授業ではない」「むしろ興味で現時点では持てない企業に研修に行ってもらうこともある。視野を広げて改めて自分の適性を見つめ直すことも目的としている」と説明していたのだが、そこを理解していない学生が極少数いたと推察される。それが上記4-2の結果に繋がったと分析している。 なお、コロナ禍で研修予定期間と緊急事態宣言が重なり、日程の変更などが必要な部分もあったが、無事乗り切ることができた。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>就職課との協力体制を保ち、全般的に有意義なインターンシップ活動を提供できた。しかし、この授業が大切に考えているものを来年度以降はもっと徹底して受講生に伝えたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	寺井 泰子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
簿記演習	3	前期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①3年生の英語学科の学生を対象としている科目であることから、簿記演習という科目内容についてイメージしにくいことが課題の一つとしてあげられる。</p> <p>説明の際はなるべく身近な事柄から連想させるように説明することを心掛けた。</p> <p>今回の受講動機をみると選択率の高さは「単位数を確保する」、「関心のある内容であった」、「資格取得に必要である」の順であった。少数ではあるが、日商簿記検定試験の受験の意思が明確にある学生がいること、授業中の聞き取り調査で、明確ではないが、将来的に日商簿記検定試験の試験の受験を考えてる学生が数名いることを確認したうえで日商簿記検定試験3級の資格取得についても視野に入れた授業計画とした。</p> <p>②単元のまとめ毎に確認テストをいれて理解度を確認した。学生の復習の意識を高め、学習状況を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は77点であった。理想的レベルに達していると判断できる学生は15名中に5名いた。</p> <p>学生による授業評価において到達度自己評価の項目の中央値以下となった項目がいくつかあり、到達度項目に沿った内容に沿った内容で授業構成を練り直したい。また、学習量評価において、数値と授業内の提出課題の数値が大体一致するので授業以外の場面での意欲までは引き上げることができなかった、と捉えている。コロナ禍において図書館利用はできなかったとしても、授業以外の部分まで関心がむかなかったことなどを課題としてとらえ、授業内容の計画についてはさらに検討を進めたい。また、復習に力点を置いた課題を増やす方向で来年度は取り組みたい。</p>					
* 根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

学生による授業評価によると、受講動機は「単位数を確保する」が66%となっており、最も高い数値を示していたが、学習到達度の自己評価の質問項目については「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」を評価した学生が多いことから、内容的妥当性においては問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」

「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

情報利用の点において、シラバス記載を参考にしなかった学生の割合が高く、授業を進める中で学生の理解度に差がありすぎて授業の進行が難しいことがあった。そのため、授業計画を修正しながら進める必要もあった。できることならば「簿記入門」の履修を済ませることを学生に促したい。

全体的に授業中に実施する予定の内容復習の時間が想定より少なくなってしまうことは反省点である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業過程を振り返ってみたとき、簿記入門内容の復習を加えたが、簿記演習で説明する内容を復習する時間が少なかった。

次年度は予習課題の提示などで改善を図りたい。また、内容を吟味して絞り、整理を行うことで、学生が思考して問題を解く時間的余裕を作ること、質問を効率よく受け付けながら課題を行う時間を設定したいと考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	高橋 克典

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際ビジネス論	3	前期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度の授業内容に加え、コロナ禍による国際ビジネスへのインパクトなど、今日的なトピックを織り込むことで、学生の該当教科に対する期待に応えた。更に、レポート課題や毎回実施した小レポートに、自ら調査し、考察する必要があるワークの割合を増やすことで、授業で学んだ内容を定着させるための工夫を行った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の理解度や意欲は毎回の振り返りレポートや授業中の発言を通じて常にモニターするようにしていた。毎回の振り返りでは、その日の授業の満足度を学生に5段階で評価してもらっていた。平均で4.5を超えることを基準としていたが、毎回全ての授業において達成していた。(全体の平均は4.75であった)。更に最終的に大学が調査した到達度自己調査における全体の平均値も同じく4.5を超えていることから、全体として教育目標は達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機の9つの項目のうち、③関心のある内容である④単位数を確保するの二つの項目が突出しているが、それに対して到達度自己評価の評価から、受講動機に対する期待に答えうる妥当的な内容であったと判断する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

オンライン環境における授業での双方向性は常に大きな課題であると思われる。到達度自己評価において、⑧のコミュニケーション力や表現を高めることができたの項目が一番評価が低く4.3であった。今後オンライン環境における双方向性に関しての改善が必要であると考え

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全体を通して、学生の受講動機に応えられる内容であったと自己評価をする。但し、①授業の双方向性②課題の量に関しては今後改善の余地があると考えられる。この二つは対面授業であれば学生とのコミュニケーションにより内容を調整することができるが、仮にオンラインであったとしても対面と同様の教育効果をあげるための工夫を構築することが課題である。



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	宮原 英利

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
航空ビジネス研究	3	前期	選択	いいえ	41

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・世界中の同業他社との競争に打ち勝つための国際感覚の養成、それを実現するための広い教養を備えた人間力の養成に重点をおき、授業が進むごとにこの業界では、自分にとって、何が重要で何が必要かを織り込んで進めてきた。幅広い知識の習得は講義内での内容からヒントを得て、その後、それらの事象を深く考える事へと繋がって行く事から得られるものと考えている。したがって、各項目の中で、事例をあげ、どうすれば自分の人間力をあげることができるかアドバイスしてきた。しかしながら、学習量の評価を見る限り次のステップに進んでいないことが分かり、今後、どのように指導したら深く考えさせられるかが課題である。中には、航空産業の仕組みや、航空会社が目指すべき課題をしっかりと捉えてくれた者もあり、今後の励みとしたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・到達度評価を見ると、事象を理解する視点や考え方を得ることができた、専門的な課題を検討する力を得ることが出来た、および専門分野の的確に判断する力を得ることができた、の項目の評価が他よりも良かったことは、上記で記述した深く考える力を養えたと理解する。また、受講動機で、単位取得のためが多数を占めていた割には就職選択の参考になったが82.3%と高く興味を持って取り組んでくれたことは今後の励みになる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

・当科目である「航空ビジネス研究」は、航空運輸業ではあるが、現在、航空会社は高品質のサービスを提供するサービス業と考えられている。従って、高い教養と豊かな人間性を持った学生を養成するには大変重要な役割をになっている。更に、航空ビジネスは、グローバル化の最たるものであり、英語でのコミュニケーションは必須である。その意味からも、本講座を通じ、国際感覚を持った学生を育成することは重要であると思料する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

・予習・復習は大変重要で、特にこの科目には専門用語が多く、事前に調べることで理解を深めることにつながる。講義終了後は必ず次回の範囲を知らせているが良くできているとは言えない。事前学習の習慣づけが課題である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・事前学習の習慣づけが大事であることはすでに述べたが、学習量の評価に、この授業の課題以外に他の授業の課題が多くあったから時間が取れないなどの意見が多くみられた。従って、今後の課題として、ポイントを絞って実務に直結した身近な問題を織り交ぜた内容とした。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	塚本 美紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育ボランティア演習	3	前期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 教職課程を履修している学生とそうでない学生では、背景知識に若干隔りがあることが考えられるので、教育学や教育心理学などを学修したことがない学生でも理解できるように、専門用語の使用等については配慮した。また、教職課程を履修している学生には既習のことでも、解説をするなどして、すべての学生が講義の内容を理解できるよう気をつけた。</p> <p>② 本来は学外での実習も含まれる科目であったが、すべてオンラインで実施することになったので、当初の教育目標を達成できるよう工夫し、急遽内容の一部を変更して実施した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>すべての学生が標準以上のレベルに達し、再試対象者はいなかった。成績から見ると多くの学生が理想的レベルに達していたが、到達度自己評価については、平均値は3.6から4.1、中央値は3.0から4.0であった。また、約3割の学生が「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」という質問に対して「取り組んだ」と答えており、大部分の学生が積極的に取り組んだことが伺える。コロナ禍の影響で、予定していたことについて次々と変更を余儀なくされ、中学校を訪問して学習支援活動を行ったり、オンラインで中高生と交流することが中止になってしまったが、コロナ禍の影響で1年近く英語の授業を受けることができていないカンボジアの中学生に英語の手紙を届けることができた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP、カリキュラムマップ上の位置付けからみでの内容的妥当性 1、2年生の専門教育科目で習得した知識や技能を用いて、中等教育学校の生徒の学習を支援する活動を行うこととその準備や振り返りが授業の主要な部分であり、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>② DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から学生の達成度は概ね高く、学生も一定の成績をおさめていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>③ まとめ 以上から、内容的には妥当であったと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、どの項目についても「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と回答しており、また、各項目の平均値が3.8から3.9、中央値が4.0であることから、わりと肯定的に受け止められていると思われる。コロナ禍で予定していたことが次々の中止になったことは、授業進行上大きな痛手であった。どのような状況になっても対応できるようにいくつかの副案を持ちながら授業を進めたが、そのため学生が目標を定めて学修する状況をなかなか作ることができなかったことは反省点である。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>途中から、全面オンラインで実施することになったため、前年度立てていた計画を修正し、試行錯誤しながら実施したが、次次の予定変更を余儀なくされ、難しい対応が多かった。しかしながら、すべての学生の成績が標準以上のレベルに達していることから、当初想定していた教育目標は達せられたと言える。一方で、中学生に向けた英語の手紙の表現には、初歩的なミスも結構あったので、基本的な知識や技術についてもきちんと身につけられるような内容を授業の中で取り入れたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	塚本 美紀・山崎 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
児童英語教育入門	3	前期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・2020年度に続き、遠隔授業となった。そこで、デジタルな空間であっても、授業中の時間が学生にとって「安心して学べる場」となることを心掛けた。</p> <p>齋藤孝教授（明治大学）のアイデアを学び、出席確認の際「10秒近況報告」を取り入れることにした。</p> <p>・本授業は、教職関連教科であるが、単位取得のために登録する学生が半数を占めていることから、教科としての専門性を扱いながら、質問しやすい配慮が必要であると考えている。各自の理解や関心に応じた学習深化や安心して質問できるよう、毎授業後に、フィードバックにてコミュニケーションを図れるよう計画した。</p> <p>・授業内容については、文部科学省によるコア・カリキュラムを参考として構成している。教科書も同様の趣旨で編集されたものを選んでいる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された		達成された	やや達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・最終的な成績の平均値は94点であり再試対象者は、0名であった。全体の80%が90点以上に達している。評価場面は、主に、レポート課題と発表課題であった。発表課題は、全員がよく準備して臨み、互いの発表に対する関心も高く質の高い学びの機会となっていた。レポート課題においては、ほぼ達成しているが、ごく一部の学生に、講義内容の理解の不十分さや課題理解の誤りがみられた。</p> <p>・学生の「到達度自己評価」においても、10項目中5つの項目において、中央値が5となり、すべての項目における平均値は4.2以上であり、達成できていると考えられる。</p> <p>・インターネット利用に関して、資料閲覧を促すよう課題を設定したり、授業内にて閲覧するよう計画していたが、利用したと回答している学生が約50%であり個人差がみられた。自由記述によると、各授業のテーマにより、さらに詳しい情報を得ていたようだった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけから見ての妥当性 本科目は、教職課程履修者・日本語教師資格取得希望者にとっては必修であるが、同時に単位確保のための自由選択科目でもある。そのため、学生の受講動機に幅があると思われるが、英語学科卒業後、人生のどこかの場面で、「英語の堪能な地域人材」として、児童（小学校）英語教育に携わる可能性は高いと考えている。そこで、全員が必要な知識を身に付け、判断の基準を持てるように計画している。到達度自己評価において、項目（４）から（７）で示された専門分野の課題において、中間値５，平均値4.4～4.6であることから内容は妥当であったと考えている。</p> <p>②DP，行動目標から見ての内容的妥当性 全体を通して目標を達成している。知識理解においては、「言語習得」「教授法」などの専門性の高い領域において、理解が不十分となったり、課題理解が不十分な学生はごく少数であり、内容的には妥当であったと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①「授業の質評価」において、全項目中間値５，平均値4.4～4.6であることから、学生との信頼関係のもと、授業を進めることができたと考えている。昨年度は、「課題評価において、説明が不十分である」との自由記述があったが、今回はそのような指摘はなく、改善されたと考えている。</p> <p>②授業準備の項目でも述べたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、遠隔授業が2年目になった。学生にとっても意欲を維持しながら授業に出席するうえで努力を要することが予想された。そこで、クラスルームが「参加したくなる楽しく温かい場」となる一つの手立てとして出席確認の際の「10秒近況報告」を行った。回を追うごとに学生が話すことに慣れ互いの報告を楽しむ様子が見られるようになった。また、自由記述にもその効果を述べるものがあった。</p> <p>③2020年度から「わたしの英語学習法」という発表課題を行っているが、学生が学び合う姿が印象的で、そのことが全員が安心して発表できるクラスルームの風土を作っていた。この風土は、学生が入学以来本学での温かい師弟関係や友人関係で育まれたものであり、学生には卒業後も誇りとしてほしい財産であると思う。</p> <p>④遠隔授業ではあったが、フィードバックを通して、学生一人ひとりとつながることができ、質問や提案も積極的に知らせてくれたのはありがたく、教員としても安心して授業を行うことができた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>選択科目として、学生の受講動機には幅がある状態だが、シラバスに取り上げた項目に沿った内容には、学生がおおむね満足していることがわかった。遠隔授業ではなかったが、学生との繋がりの確保、課題提出と各個人への提案や助言など、以前よりも丁寧に行えたこともあった。今後、対面授業、遠隔授業のどちらになっても、学生の力が十分発揮でき、各自の課題達成を助けることができるような学習活動や課題提示の工夫が一層必要であると考えている。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	Malcolm Ross Swanson

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>Thankfully, seminar classes return to being face-to-face this semester, and this proved to have a positive impact on this group. Project-Based Learning (PBL) has become a popular focus for language learning, and this was implemented fully into this class. Using this approach, students worked on projects in English that have a specific goal. For this seminar, we used Sustainable Development Goals (SDGs) as a focus for our learning. Each week, we would focus on one issue using presentations, guided research, discussions, and project planning. This was another exceptional seminar group, and all students produced excellent work.</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>All students in this seminar class worked extremely well together. We collaborated together to formulate new sets of goals and objectives, and the students worked very well to achieve them. Assessment, attendance, and participation have all been of a very high standard.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

For this seminar group, the goals of the DPs were all satisfactorily achieved. Students joined the group with clear goals and purposes, and worked towards these. It was particularly satisfying to see that even those students who have had trouble motivating themselves in other classes were able to participate in this class enthusiastically.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Each year's seminar group is totally different, so has to be dealt with in its own way. This year's seminar has been able to work to achieve the goals that shared in the overview they received upon selecting this seminar, so the goals for this group don't need to be changed in any way. Adapting to the needs of future seminar classes will need to be dealt with on the fly with a mixture of flexibility and creativity.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

Assessment for this class is based around a combination of the teacher's own observations and the students' own self-assessments and peer review. This approach is transparent and collaborative, so there is no need to implement any changes in the foreseeable future.



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	大谷 浩

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>世の中に対する理解を広げ、同時に英語力を養成するために、英語で書かれた新聞記事を丁寧に読み進める活動を行ったが、取りあげる記事は、学生達が無理なく関心を持つことができる内容を選ぶ点に、留意した。説明時は意味単位でスラッシュを書き入れながら、理解の補助とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>事前に与えた課題の予習によく取り組み、英文を文法に則って的確に読み取る力が向上した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>本科目はいわゆる「ゼミ1年目」であるが、大学生後半に入る3年次に自ら選択した教員の元で、その教員が大切だと考える授業内容を学習し、卒論指導への布石を敷いていく位置づけがあり、妥当である。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>毎年学生グループの気質を判断して授業を進めており、このグループに対しても適宜進められている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>しっかりした英語力（読解力）を身につけたい、という意味を持った学生がこの授業を選択した背景もあり、充実した内容を提供できた。学生の参加も極めて真面目で意欲的だった。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	太田 かおり

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ゼミ活動では、社会人マナーや敬語の使い方、挨拶などの基礎的な素養の醸成に加え、プレゼンテーション発表や双方向型の意見交換を多く取り入れることによって、社会人基礎力の育成を目指した。</p> <p>また、互いの自己紹介を自己分析形式で行なうことによって、ひとり一人の学生の良さや特技を発見し合い、認め合う関係を早期に構築できるよう工夫した。</p> <p>ゼミでは毎週2名ずつの学生がパワーポイントを用いてプレゼンテーション発表を行う。発表に向けての事前準備や計画性、期限厳守の習慣を身につけ、さらには発表内容の工夫や相手に伝わりやすいパワーポイント資料の作成、より伝わりやすい説明力など、さまざまな能力を総合的に伸ばすことができるようゼミ運営を工夫した。また、ゼミ生ひとり一人が前に出で発表したりファシリテートする機会を意図的に多く設けることで、学生個々がその役割を担うことを通じて各々の責任感や協調性、リーダーシップ力などを高める好機となるよう指導を心掛けた。</p> <p>受講学生のコメントには、「ゼミ活動を通して、人前で話すことが多く人前で話すことに慣れてきた」、「(プロジェクトを)一から計画を立てたり、申請書を書いたりすることはとても良い経験だと感じながらゼミ活動に取り組めた。後期もゼミの仲間と協力して、プロジェクトを成功させることができるように頑張りたい」などの意見がある。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケート調査の結果から、授業の質評価については、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」は5.0、「期間内に行き学習の範囲や課題は明らかであった」は5.0、「説明は理解しやすい物であった」は5.0、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は5.0、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は5.0と良好ではあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業評価アンケート調査の結果から、「自分なりの目標を達成した」は4.8、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は5.0、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」は5.0、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」は5.0、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」は5.0、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は5.0、「職業選択の参考になった」は5.0と概ね良好であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年度の成果と課題を踏まえ、来年度も引き続き、学生たちの人間力、コミュニケーション力や表現力、マナー力や社会人基礎力の育成に力を尽くしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成状況については概ね良好であった。今年度の成果と課題を踏まえ、来年度も引き続き、学生たちの指導に尽力したい。また、卒業時にゼミ生全員が希望の就職先へ笑顔で羽ばたいて行けるよう、今後も引き続き学生ひとり一人の成長を応援して行きたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	塚本 美紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 本科目は3年生の必修科目であるが、幾つかの選択肢の中から主に学生の希望に基づいて履修することになるので、受講している学生の興味関心は比較的似通っていると考えられる。事前に提出してもらった履修の動機についての書類をもとに、授業の内容ややり方について工夫した。</p> <p>② 大学で学修していることと、社会とのつながりを身をもって体験できるような企画を検討したが、コロナ禍の中でいろいろな制限があり、残念ながら実施できなかった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>発表や提出物について、全員が熱心に取り組み、高い意欲関心を持っていることがうかがわれた。また、それぞれの課題を適切にやり遂げ、思考判断、技術表現もかなり身についたと思われる。</p> <p>学習到達度の自己評価については、平均値も中央値も全て4.0で、学生自らもある程度達成感を得られているものとする。</p> <p>学習量の評価については、学生によって予復習の時間に大きな隔たりが見られる。個別に対応することを検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP, カリキュラムマップ上の位置付けからみでの内容的妥当性 学生の興味関心に沿って授業を選択しているため、授業に対する意欲も高い。学生の成績についても、全員が標準的なレベル以上に達していることから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>② DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 学生の成績が比較的高かったことから内容的に妥当であったと考える。</p> <p>③ まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価については、全員が「わりにそうだと思う」または「かなりそうだと思う」と回答している。また、各項目についての平均値は全て4.3、中央値は全て4.0であり、授業の進め方についても概ね妥当であると考えている。一方、オンラインでは対面に比べるとディスカッションがやりにくく、学生が自由にターンテイングしながら話すという場面をあまり作ることができなかった。このことは、互いの発言から自らの思考を深めていく機会を十分に設定できなかったとも言える。後期に実施される「専門演習II」では、トピックや設問を工夫するなどしてこの点を補いたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>対面で行っていたことを少し工夫してオンラインで実施した。具体的には、文献を読んでそれについて課題に取り組んだり、ディスカッションすることは通常対面で行っているものをほぼ同様に実施することができたが、ディスカッションについてはオンラインでは活発になりにくいので、テーマや設問を工夫するなどして改善したい。これらのことを通して、教育目標については、概ね達成できたと思われるが、オンラインでも活発なディスカッションができるような工夫を今後検討したい。</p> <p>"</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	ブラウン馬本 鈴子

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機を見ると「必修科目である」100%であった。ゼミ選択の動機としてはやや残念な結果である。しかしながら8人もの学生が自由意志で第一希望としてこのゼミを選択してくれたことを考慮すると、アンケートの選択肢以外の動機があるのではないと思われる。実際多くの学生が、ゼミの志願書に「文学を勉強したい」という趣旨の内容を記載していた。②授業の初めに新聞を分析発表する活動をし、世の中の動きに対しクリティカルシンキングを促した。この活動は、特にコロナ禍において、学生が世の中の動きに対して不安・不満に思っていることなどを共有しあったり、明るいニュースをシェアすることで気分転換になったりと、精神的にも有意義な活動となった。また就職活動での話題作りにも役立ててもらいたい。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員毎回の課題をきちんとこなし、積極的な態度でゼミに臨んだため、成績は全員「優」とした。学生の到達度自己評価によると全員の学生が、(1)から(9)のほとんどの項目でハイスコアをつけてくれている。対面授業ということもあり、学生は毎回笑顔で積極的に発言を行ってくれた。そこで上記のすべての項目において「達成された」と評価したい。遠隔授業の利点もたくさんあり、授業によっては遠隔授業の方が、学生の声をより多く拾い上げたり、効率よく勉強することができるものもあるが、ゼミに関しては対面がいいと思う。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性：ゼミという特性上、専門分野に特化した内容を扱っており、学生の動機も明確であるので、妥当である。②DP、行動目標からみての内容的妥当性：内容的に妥当である。③問題なし

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

学生の意見：1、楽しくていつも木曜日が来るのが楽しみです。2、とても楽しくみのりのある授業でした。この短い期間でもイギリス文学の面白さを知ることができました。3、文学の楽しさを知ることができました。教員からの回答：1、私も皆さんの色々なご意見が聞ける木曜日が楽しみです。2、ありがとうございます。今後ももっとたくさんの情報がご提供できるように準備を進めたいと思います。3、3年後期と4年生でさらに多くの小説と一緒に読んでいきましょう。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

去年の反省：達成状況としては、総合的には「達成」としたいが、アンケート結果では見えなかったことであるが、後期になり学生と話したところ小説を理解していくこと（登場人物の多さ）などでかなり苦労したと言う意見を教えてくれた。そこで今後は小説を初歩的なレベルで理解するのに役立つような資料（登場人物表など）を前記の途中くらいで配布したいと思う。今年行ったこと：登場人物表を配布し、Googleフォームに共同で書き込みを行って、登場人物表を充実させていったので、小説が理解できない、という意見は聞かなかった。また、前期の最後に読み終わった小説の書評をゼミ全員でピックアップし、まとめて発表を行ない、文学批評の導入につなげた。



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教職概論	2	前期	選択	はい	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①オンライン講義となったために、説明用のパワーポイントを作成した。パワーポイントは講義に集中させることを目的としたので、高橋メソッドという技法を用いた。</p> <p>②試験はオンラインで記述式を含む方式を採用した。オンラインの試験はなんとかできると感じた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない			どちらともいえない	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①到達度自己評価はおおむね良好であり、まずまずの成果はあった。</p> <p>②しかし、試験の平均は56.4であり、再試験も4名であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の科目なので、問題はない。</p>
---	--------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>オンラインに馴れてきたこともあって、まずまずであったと思う。</p>
--	---------------------------------------

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>だいたい満足できた。課題については、来年度はないので、特に記述することはない。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育心理学	2	前期	選択	はい	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>平和で幸せな地域の実現と、より良い社会の建設は教育の成否にかかっている。教職を目指す学生には良い社会の形成に関わるという責任と自覚を持って授業に臨むよう学生に求めてきた。シラバスに記載したように教育に貢献できる心理学的知見を紹介しながら「理想を失わない現実主義者」としての教師になる内容を出るだけ厳選して授業に臨んだ。評価アンケートの結果をみるとおおむね達成できたと思われる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成の評価の根拠は定期試験の内容である。しっかりと授業者の求める論点に従って書いている学生が多く、授業者の意図をよくくんで内容を理解していることがわかる。（客観的データとして学生の成績平均を参照して頂ければ分かる）授業アンケートの集計結果も満足のいくものであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

「映像は100の言葉に勝る」と思われる。スマホ時代の真ん中にいる学生たちには言葉による講義だけでは集中力が続かないことは経験上理解している。その為に毎回の授業では映像を見て考える時間を取っている。アンケート結果をみるとこれは概ね好評である。ただ学生らの意見の中には出来るだけ授業者の話をききたいという要望もあるので今後この点を改善して新たな方法を試みてみたいと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

昨年度の取り組みでもあったが学生が達成すべき目標を4点シラバスに記載しているが、授業のはじめに説明しておいたこともあり、学生の自己評価および授業者の目から見ても満足のものであった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

昨年同様に概ね年度当初の授業目標は達成したものと考えている。しかし多様性と個別化を体現している現代の学生のニーズに対応してグループワークや発見学習など多彩な講義時間の運営方法の工夫とさらなる知恵を出していく必要性を痛感している。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	大庭 正美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3	前期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習指導要領における特別活動及び総合的な学習の時間の位置づけや特質、内容などについて基本的な知識理解を中心にしながら、小中学校での指導の実際についても取り扱い、実践的な態度の育成に資する授業に努めた。そのため、できるだけ実践事例の映像資料を活用していった。</p> <p>②授業の終末には授業内容を振り返り、シートに記入させるようにした。そこで出された気づきや疑問などを次の授業の導入で取り扱い、再確認できるようにするとともに、深い学びにつながるように努めた。</p> <p>③授業の内容に応じて、学生自身の学校での経験を想起させ、重ねて考えることができるように促した。そうすることで、理論と実践がつながりやすいようにし、就職後のイメージをもちながら学修できるよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業後の振り返りシートの内容及び試験の結果をもとに判定したトータルの成績において、70点以上を獲得した学生が12名中7名であり、そのうち80点以上が5名いた。また、到達度自己評価においては、ほとんどの項目（10中8）で平均値が4.0を超えており、そのうち学科平均を超えた項目は7項目だった。特に（4）（10）の項目では学科平均値より3ポイント上回っており、したがって、上記の観点において目標を「達成した」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業後、英語科教諭をめざす学生にとって、学級経営や生徒指導、道徳教育と密接につながっている特別活動及び総合的な学習の時間の指導内容は非常に重要である。そのような点から、学生の自己評価での項目「職業選択の参考になった」の数値が高い点や自由記述の内容（例、実際の授業の様子を動画で視聴できイメージが湧いた。教育現場のリアルについて学ぶことができた。）などから、内容的な妥当性は高いと判断できる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質評価」項目の（３）「説明の理解しやすさ」の評価が高かった。これは、学校現場の実際場面がイメージしやすくなる映像資料を活用することなどが効果を上げたと考える。また、遠隔授業となったため、できるだけ丁寧に毎時間の振り返りに対して助言や補足説明などのコメントを加えながら理解の共有を図ったつもりだが、相互交流が十分だったとは言い難く、（４）の評価が3.2と最も低くなっている。自由記述欄には、学生の感想などの共有を評価する声もあったため、一定の成果はあったと判断できるものの、今後も学生との相互交流の手立てを工夫しながら授業を進めていくことが必要であると考えている。</p> <p>遠隔授業に関して、自由記述欄に音声聞き取りにくい場合があったとの意見があった。コンピュータ環境の整備も含めて、十分な準備を行った上で授業が進められるように努めていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>将来、中学・高校の学級担任をする可能性のある学生であるため、学級経営との関連や教科指導との関連などを想定しながら授業を進めていった。特に、教育課程における特別活動及び総合的な学習の時間の位置づけや役割、特に特別活動の教育的な意義については繰り返し指導するように努めた。その結果、毎回の授業後の振り返りシートの記述などから、教職に対する意欲が向上していったことが読み取れた。</p> <p>今年度は遠隔による14コマの授業であり、併せて新たに総合的な学習の時間の内容が加わったため、内容の精選・焦点化に努めたつもりだが、さらに精選・焦点化が必要であると反省した。次年度も、特別活動及び総合的な学習の時間の本質を的確に理解できるようにするとともに、教職課程の授業としてより実践的な資質能力態度が向上するように、一単位時間の授業展開に関してもさらなる工夫改善に努めていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
特別支援教育論	3	前期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>開講時間数が7回の1単位授業のため、特別支援教育の理解に最低限必要な内容についてパワーポイントを利用して講義した。別途資料等を紹介した。テキストについては副教材としての利用を勧奨した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	レポートの内容や授業で関心をもった内容についてのコメントから概ね達成されたと判断できる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

内容的には妥当であったと判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

4 学科合同の授業であり、レディネスペースでは学科間で多少違いがあることを念頭に入れ、授業中にすべての学生ではないがそれぞれ学科の学生に確認しながら、解説した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

7時間の授業での制約を踏まえ、また授業中に紹介した資料等にアクセスした学生や自分なりに調べ学習を実施した学生のコメントから、すべての対象学生とは言い切れないが概ね理解が深まったと考えられる。



リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育方法論	3	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①後半におこなっている授業づくりと模擬授業の実施が受講生が多いためなかなか全員が実施することができない恨みがあった。今年度は前半の座学を後半の授業づくりと連動させることで精選し、後半の時間を確保した。そして、すべての班が教壇に上げられる機会を設けることにした。</p> <p>②模擬授業のための教材が一つだと飽きてくるという意見も多かったので、今年度は教材を小中にわたって多様な発達段階のものを準備した。</p> <p>③評価シートを改善し、相互批判の時間も確保するように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	試験の平均点は73.2で非常に良好であった。模擬授業も充実しており、いい結果を残したと思う。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから  
みた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

教職課程の科目なので問題はない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方  
策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答を  
お示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」  
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

模擬授業は定着してきたと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

教育実習に行く前にいい体験をさせられたと思っている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	太田 かおり

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語教科教育法Ⅱ	3	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>英語科教職課程の必修科目である。学生たちは、既修科目である英語教科教育法Ⅰでの学びを活かし、英語教科教育法Ⅱではさらに専門的な教科教育法に関する知識や指導法の習得を目指した。授業では、英語の指導法や指導技術、留意点などについて様々な問いかけがなされ、学生の積極的な発言が求められるが、学生たちは皆、自分なりの意見や考えを積極的に発言しており、意欲的に授業に参加していた。学校教育は、答えのない問いに常に正面から向き合い生徒たちに寄り添っていくことが求められるが、学生たちもこれらの問いに対して前向きに挑む姿勢が見られたことは、高く評価したい。</p> <p>受講生のコメントとして、「本当に大変でしたが、教員になる自覚がさらに芽生えました。達成感がとてもあります。」という意見がある。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケート調査の結果から、授業の質評価については、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」は4.4、「期間内に行き学習の範囲や課題は明らかであった」は4.4、「説明は理解しやすい物であった」は4.3、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は4.4、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は4.3と概ね良好であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業評価アンケート調査の結果から、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は4.4、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」は4.1、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」は4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」は4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」は4.3、「職業選択の参考になった」は4.4と概ね良好であった。英語教科教育法Ⅱは英語や英語教育全般に関する知識を醸成することが主眼となる科目であるため、来学期に続く英語教科教育法Ⅲにおいて、今回学んだ知識を実践的な模擬授業を通じて活用できるよう指導していきたい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年度の成果と課題を踏まえ、来年度も引き続き、学生たちの英語力および教科指導技術の向上に尽力する。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成状況については概ね良好であった。今年度の成果と課題を踏まえ、来年度も引き続き、教職課程の学生たちの指導に力を尽くしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
道德教育の理論と実践	2	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の必修科目であるため、学生の意識の上では準備がある程度なされていると考える。ただし、小中時代の道德教育の実施状況から考えて、非常に意識しにくい科目であると予想される。そのため本授業では授業実践としての道德教育を具体的な形で意識できることをひとつの焦点とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>○2020年度 全体平均80.7、英語学科平均78.0、秀41.7%、優16.7%、良8.3%、可25.0%、不可8.3%</p> <p>○2021年度 全体平均81.3、英語学科平均79.4、秀25.0%、優37.5%、良25.0%、可12.5%、不可0.0% 標準偏差7.68</p> <p>○本年度は不可が0、可も1名のみと全体的に良い結果となった。データの散らばりも小さく、他学科と比較しても同程度であり満足できる結果であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の必修科目ということ、また従来型の理論偏重の道徳教育ではない実践的アプローチを採用していることを鑑み、内容的な妥当性はあると考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>○授業の進め方としては(1)道徳とは何かという理論編(2)日本の学校教育における道徳教育の位置づけ(3)学習指導案の構造と授業の実際(4)自分で道徳の授業を組み立てる、というものであった。 (3)と(4)に関しては同時並行という形になり、常に自分ならどのような授業にしたいかを考えて授業に参加することを求めた。 ○本年度は実際の学校現場で用いられている各種資料の参照、理解度を深めるための課題等について多様な形式を工夫した。 ○指導案作りに関しては、いくつかの段階を踏んで作成できるよう課題作成・提出を組み合わせた。 ○今年度は昨年度良好な結果であったオンラインによる課題の工夫を難易度や負担の観点から改善した。次年度が対面授業となった場合に同様の効果が得られるよう授業計画を行いたい。 ○児童生徒を意識した授業づくりの楽しさを一層感じることができる授業としたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>○達成状況は十分満足できるレベルにある。 ○次年度も全員合格かつ良以上の成績に到達できるよう、内容や方法を改善したい。今年度は動画の授業実践の視聴と検討に時間をかけたが、これは比較的理解を深めるきっかけとなったと思う。次年度も同様の試みを継続する予定である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	英語学科
氏名	渡邊 義隆

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生徒・進路指導論	3	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①学生の授業評価アンケートによると、受講動機として「資格に必要」が90.91%となっており、教員免許や資格取得に向けた意識が高いことが推察される。</p> <p>②授業にあたっては、基本的な教育法規、特に生徒指導に関することを中心に学習させた。最も重視したことは学生が教師として教壇に立った時にすぐに必要となる対応・指導・その後の見守りを実際の事例を中心に授業を展開した。</p> <p>③今年度もリモート授業をのため、グループ学習や発表等の授業ができなかったことは残念であったが、学生からの意見としては、授業に余裕があり、時間配分や記述する時間の確保ができ、学生からは好評であった。昨年度と同様に授業のまとめの提出を二日後にメールでの提出にしたため、学生とのやり取りもでき、内容が非常に良く充実したものになった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された		達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>①（目標を達成した）の項目では、同科の受講生11名中「かなり」「わりに」「まあまあ」すべてが肯定的回答であった。このことから目標に達したと言える。</p> <p>②学生の（知識）（理解）に関する達成自己評価を見ると、それぞれ肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「9名、2名、0名」「9名、2名、0名」で100%であり、否定的回答は0名であった。このことから目標に達したと言える。</p> <p>③学生の思考判断に関する（検討する力）（判断する力）それぞれ肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「8名、2名、1名」「7名、3名、1名」で100%であり否定的回答は0名であった。このことから同様に目標に達したと言える。</p> <p>④同じく意欲関心に関する（意欲）では肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「8名、1名、2名」で100%であり否定的回答は0名であった。このことからすべての学生が意欲をもって授業に参加したと言える。</p> <p>⑤さらに技能表現に関する（技術）と（コミュニケーション、表現力）の習得では、肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「5名、5名、1名」「4名、4名、1名」であった。リモート授業のため2名が少しそうではなかったとの回答があった。しかしほとんどの学生が技能表現を習得できたと言える。</p> <p>⑥（職業倫理）や（職業選択）での肯定的回答は、それぞれ「7名、3名、1名」「7名、3名、1名」で100%であり否定的回答は0</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

- ①CPカリキュラムマップ上における本科目の位置付けから見ての内容の妥当性としては、教員免許の取得に向けた受講であり学生の志向に  
応えるために、まさに現場の生の状況に触れることにより対応や指導を学ぶことができた授業であり妥当性があるものと思われる。
- ②「学習到達度の自己評価」ではすべての項目で肯定的回答であり授業の到達度の目標が達成できたと言える。
- ③自由記述では学生が教員を目指すに当たり良い職業選択ができるよう授業を進めてきたことから、担当教員への感謝の記述などをいただき  
教員を目指して努力する姿に応援できるよう来年度に向けての励みになった。
- ④まとめ、以上から内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方  
策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答を  
お示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

- ①学生の担当教員への意見は「先生の経験を多く授業の中で聞けて良かった」との意見があった。
- ②授業の質評価についてはすべての項目で肯定的な回答となった。
- ③学習量の評価については概ね良かったのではないかと、学生がニュースや新聞等、特に教育関係の物に対して興味関心を持って調べたり事  
例検討を行うなど学生が積極的であった。
- ④情報機器の活用はリモート授業のため度合いはわからなかったが、活用しやすかったのではないかとと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

総合評価として、担当教員への意見等を見ても感謝の言葉が送られ概ね良好であった。昨今、教師という職業は非常に大変である職業のよ  
うに言われているが、子ども達の成長する姿、人生の一部であるが関わることのできる素晴らしい職業であることを、学生に伝えること  
ができたのではないかと総合評価を感じることができた。特に達成度自己評価においてかなり多くの学生が高い評価点をつけた事は担当者  
として喜ばしいことであった。

来年度は学生が主体的に授業に参加できるよう考えてまいりたい。